INAX

Shower toilet

取扱説明書

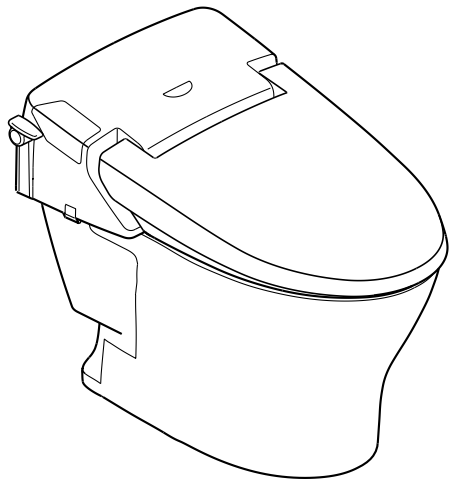
保証書付

（裏表紙）

このたびは当社商品をお買い求めいただき
誠にありがとうございました。
ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ
正しくお使いください。
お読みになった後もすぐ取り出せる場所に、
大切に保管してください。

サティスシリーズ

DV-118A**型**・DV-118A-R**型**
DV-117A**型**・DV-117A-R**型**
DV-116A**型**・DV-116A-R**型**
DV-115A**型**・DV-115A-R**型**



プラ
袋：PE

説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
不適切な使用により事故が生じた場合、
当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

転居される場合、
次に入居される方にこの説明書をお渡しください。

もくじ

各部のなまえ…… 1

安全上の注意…… 7

お使いになる前に確認してください…… 11

ご使用方法
●ご使用前に準備してください…… 13
（電源・便座・温水）…… 13
●操作は簡単です （おしり・ビデ洗浄）…… 15
（ワイド洗浄・洗浄位置）…… 17
（乾燥）…… 19
（脱臭）…… 21
（スーパーノズルクリーニング）… 22
（便器洗浄）…… 23
（節電）…… 27
（フルオート便座）…… 29
（プラズマクラスター）…… 31
（部屋暖房・冷込防止）…… 33
（ほのかライト）…… 35
（ちょっと便利な機能）…… 36
●知っておいていただきたいこと…… 39

お取り扱い上の注意…… 43

お手入れ方法
●日頃のお手入れ…… 45
●便フタを外して掃除します…… 47
●脱臭効果が弱くなった場合…… 48
●本体と便器の間を掃除します…… 49
●便器洗浄が弱くなってきたなと思ったら…… 51
●シャワーが弱くなってきたなと思ったら…… 51
●リモコンの電池交換…… 52
●電源プラグの点検…… 53

長期間使用しない場合…… 54

冬期凍結の恐れがある場合…… 55

修理を依頼される前に
●故障かなと思ったら…… 58

アフターサービス…… 59

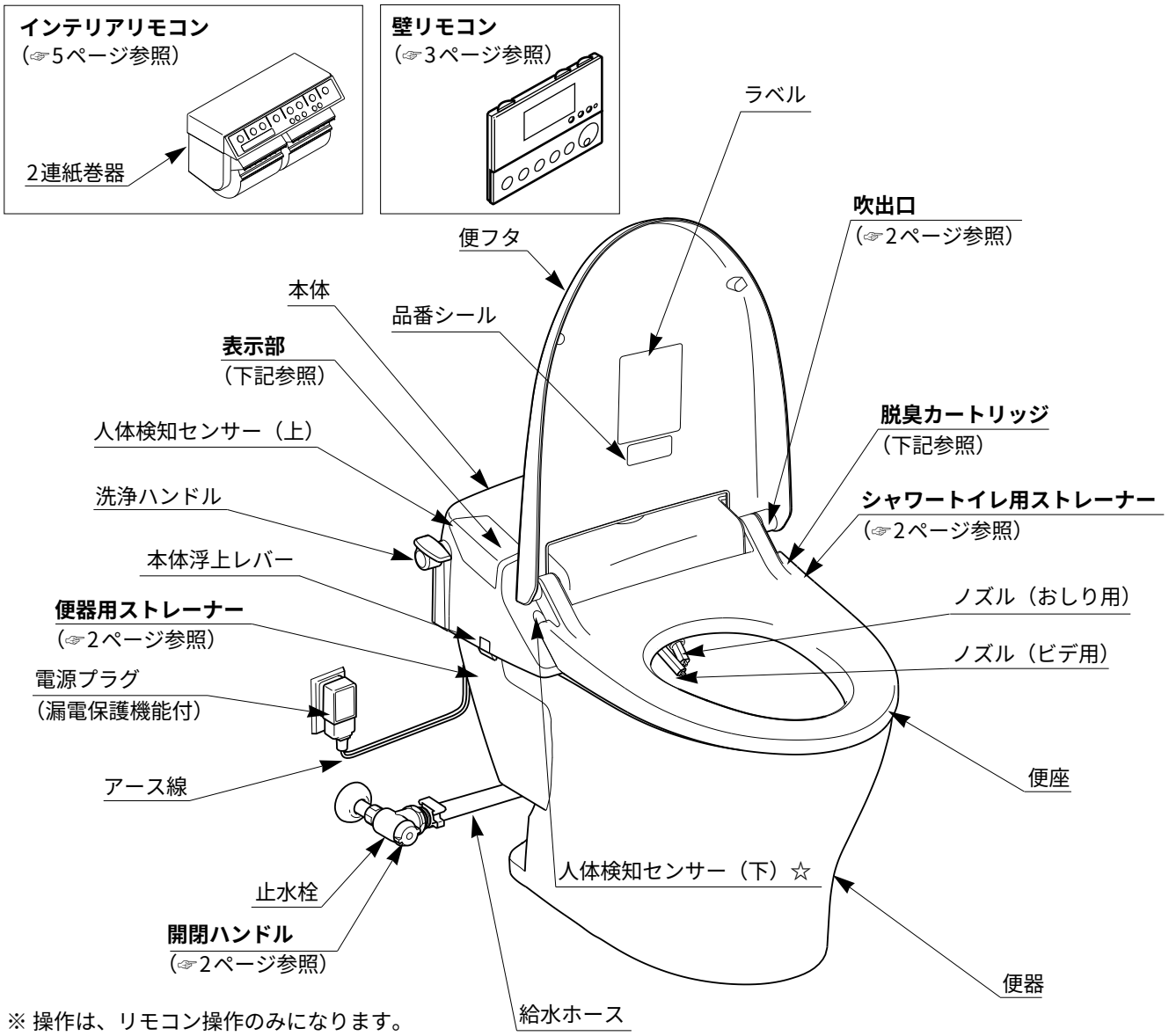
仕様…… 61

別売品のご案内…… 62

保証書…… 裏表紙

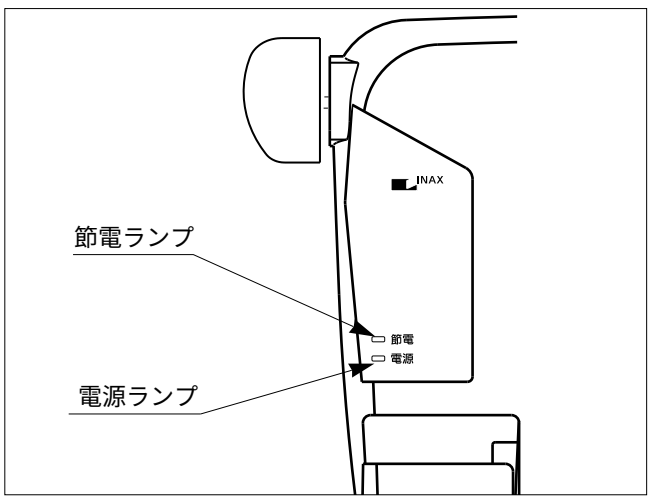
各部のなまえ

■全体図 ※機種によっては、一部機能（☆印付）がない場合があります。

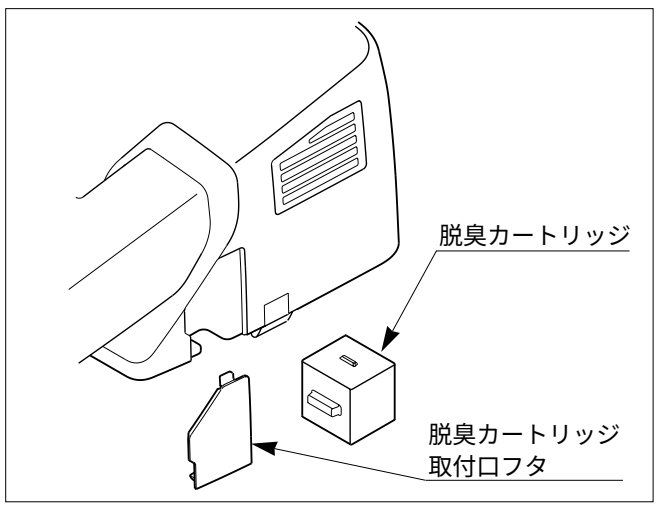


※ 操作は、リモコン操作のみになります。

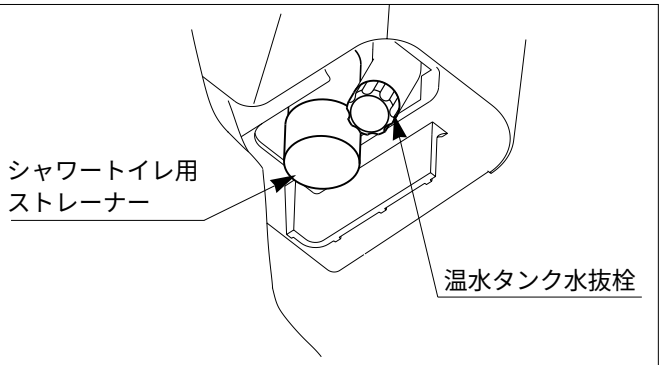
■表示部



■脱臭カートリッジ

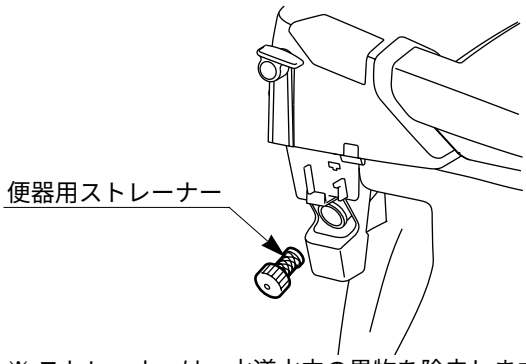


■ストレーナー、温水タンク水抜栓



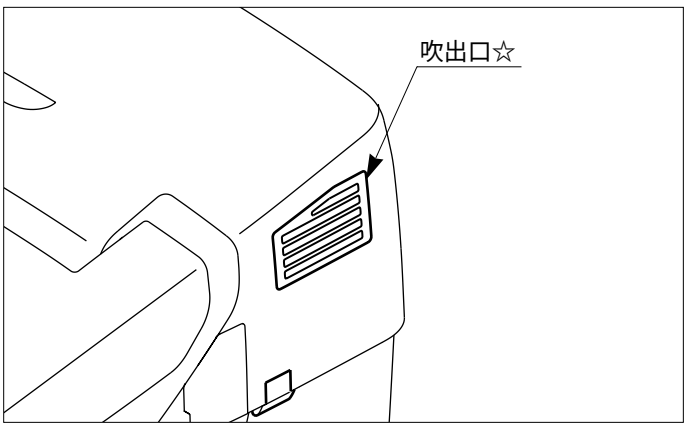
※ ストレーナーは、水道水内の異物を除去します。
温水タンク水抜栓は、温水タンク内の水を抜くときに外します。

■便器用ストレーナー

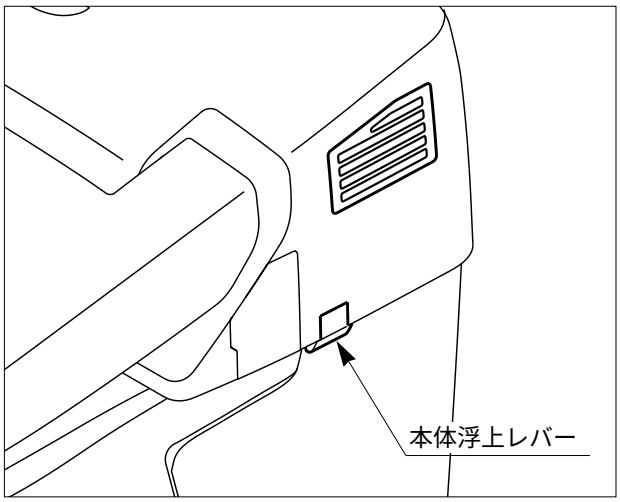


※ ストレーナーは、水道水内の異物を除去します。
外すときは少量の水がこぼれますので、洗面器等を下に置いてください。

■プラズマクラスター吹出口、または部屋暖房吹出口

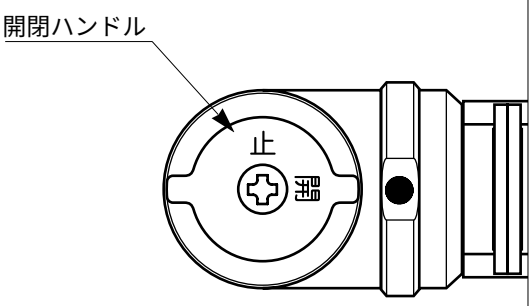


■本体浮上レバー



■プラズマクラスター表示部

■止水栓



※ 止水栓は便器への洗浄水を止めるときに使用します。
必ず全開でご使用ください。

■壁リモコン　※機種によっては、一部機能（☆印付）がない場合があります。

■操作部

便座開/閉 ★
便座を開閉するときに使用します。
(☞29ページ)

流す
便器内洗浄をするときに使用します。
(☞23ページ)

止
●おしり洗浄●ビデ洗浄●乾燥の動作を止めます。
ほのかライト付の場合、ほのかライトを「入」にすると点滅表示します。

ワイド洗浄
ノズルが前後に動いて広い範囲を洗浄します。(☞17ページ)

洗浄位置
洗浄位置を調節します。(☞17ページ)

フタを開けます。

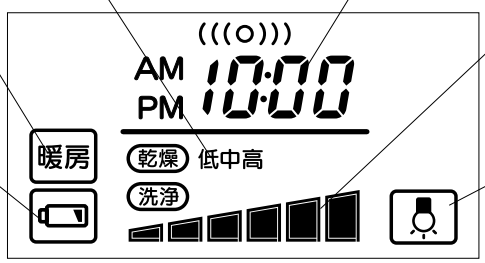
おしり
パワフル
マイルド
おしりを洗うときに使用します。
(☞15ページ)

ビデ
ビデ洗浄のときに使用します。
(☞15ページ)

乾燥
ぬれた部分を乾かすときに使用します。
(☞19ページ)

洗浄強さダイアル
おしり洗浄、ビデ洗浄の強さを調節します。(☞15ページ)

■液晶表示部



乾燥表示
温風温度を表示します。
(☞19ページ)

時刻表示
(☞12ページ)

暖房表示 ★
部屋暖房を「入」にすると表示します。
(☞33ページ)

電池マーク
電池の寿命が近づくと表示します。
(☞39、52ページ)

洗浄強さマーク
おしり洗浄、ビデ洗浄の強さを表示します。
(☞15ページ)

ほのかライト表示 ★
ほのかライトを「入」にすると表示します。
(☞35ページ)

※ 上記の図は、全てを表示した場合の例です。
※ 液晶表示部はバックライトが付いているので、見やすくなっています。☆
※ リモコンには点字シールが付いています。必要な場合はシール裏面の貼付方に従って貼り付けてください。

■副操作部

〈プラズマクラスター付の場合〉

温水
温水温度を調節します。
（☞13ページ）

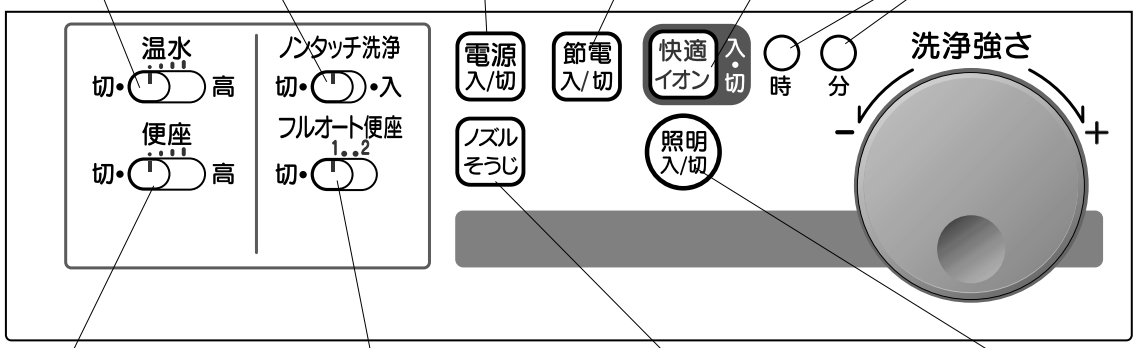
電源入／切
シャワートイレ本体の電源を入/切します。
（☞13ページ）

快適イオン ★
イオンを出して、部屋を快適にします。（☞31ページ）

ノンタッチ洗浄
便座から立ち上がると自動的に便器内を洗浄します。
（☞23ページ）

節電
便フタが閉じている間、温水温度と便座温度を下げるスーパー節電と、6時間温水と暖房便座を切る節電切タイマーがあります。（☞27ページ）

時・分
時計の時刻をあわせるときに使用します。
（☞12ページ）



便座
暖房便座の温度を調節します。（☞13ページ）

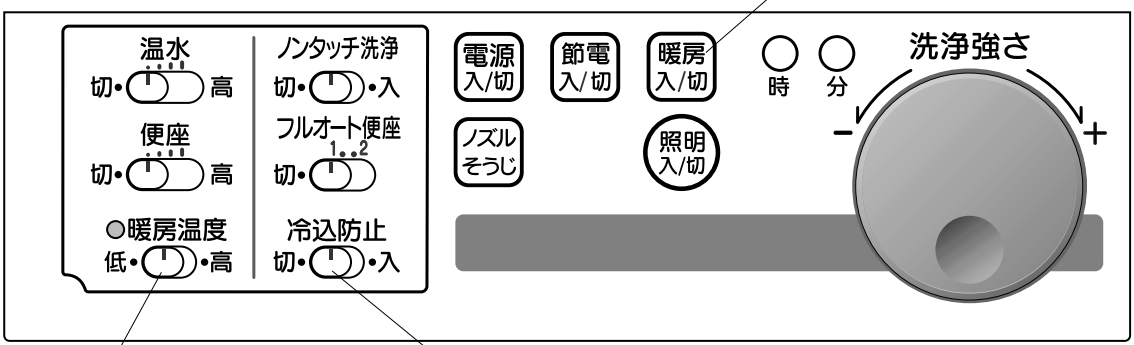
フルオート便座 ★
人体を検知して自動的に便フタ、便座を開閉します。
（☞29ページ）

ノズルそうじ
ノズルの掃除に使用します。（☞22ページ）

照明 ★
足下、便鉢内を照らします。（☞35ページ）

〈部屋暖房付の場合〉

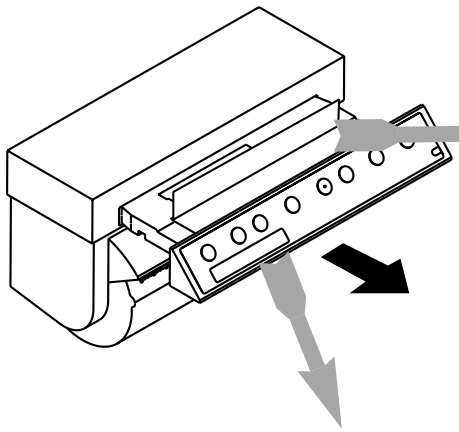
暖房入／切 ★
部屋を暖房します。
（☞33ページ）



暖房温度 ★
部屋暖房の温度を調節します。
（☞33ページ）

冷込防止 ★
冬期部屋が冷込むと自動的に暖房します。（☞33ページ）

■インテリアリモコン　※機種によっては、一部機能（☆印付）がない場合があります。



リモコンを引き出し、フタを開けます。

■操作部

便座開/閉　★
便座を開閉するときに使用します。(☞30ページ)

止
●おしり洗浄●ビデ洗浄●乾燥の動作を止めます。
ほのかライト付の場合、ほのかライトを「入」にすると点滅表示します。

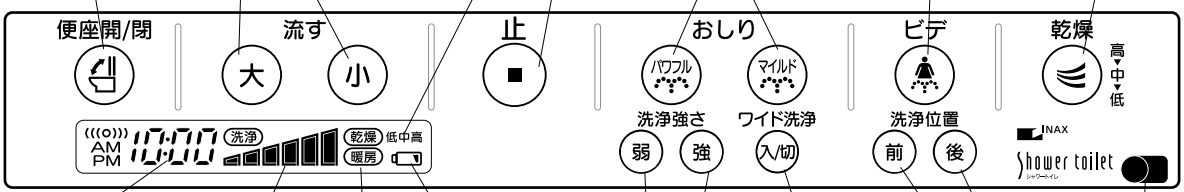
ビデ
ビデ洗浄のときに使用します。(☞16ページ)

流す
便器内洗浄をするときに使用します。(☞25ページ)

乾燥表示
温風温度を表示します。(☞20ページ)

おしり
パワフル
マイルド
おしりを洗うときに使用します。(☞16ページ)

乾燥
ぬれた部分を乾かすときに使用します。
(☞20ページ)



時刻表示
(☞12ページ)

洗浄強さマーク
おしり洗浄、ビデ洗浄の強さを表示します。
(☞16ページ)

電池マーク
電池の寿命が近づくと表示します。
(☞39、52ページ)

ワイド洗浄
ノズルが前後に動いて広い範囲を洗浄します。(☞18ページ)

送信部

暖房表示　★
部屋暖房を「入」にすると表示します。
(☞34ページ)

洗浄強さ
おしり洗浄、ビデ洗浄の強さを調節します。(☞16ページ)

洗浄位置
洗浄位置を調節します。(☞18ページ)

※ 上記の図は、全てを表示した場合の例です。
※ 液晶表示部はバックライトが付いているので、見やすくなっています。☆

■副操作部

〈プラズマクラスター付の場合〉

電源入／切
シャワートイレ本体の電源を入/切します。
(☞14ページ)

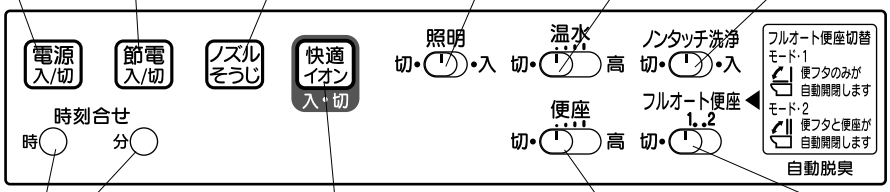
ノズルそうじ
ノズルの掃除に使用します。(☞22ページ)

温水
温水温度を調節します。
(☞14ページ)

節電
便フタが閉じている間、温水温度と便座温度を下げるスーパー節電と、6時間温水と暖房便座を切る節電切タイマーがあります。(☞28ページ)

照明 ★
足下、便鉢内を照らします。(☞35ページ)

ノンタッチ洗浄
便座から立ち上がると自動的に便器内を洗浄します。
(☞25ページ)



時・分
時計の時刻をあわせるときに使用します。
(☞12ページ)

快適イオン ★
イオンを出して、部屋を快適にします。
(☞32ページ)

便座
暖房便座の温度を調節します。
(☞14ページ)

フルオート便座 ★
人体を検知して自動的に便フタ、便座を開閉します。
(☞30ページ)

〈部屋暖房付の場合〉

暖房入／切 ★
部屋を暖房します。
(☞34ページ)

暖房温度 ★
部屋暖房の温度を調節します。(☞34ページ)

冷込防止 ★
冬期部屋が冷込むと自動的に暖房します。
(☞34ページ)

安全上の注意（必ずお守りください。）

ご使用の前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号の説明

警告 ・・・・ 「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」

注意 ・・・・ 「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

・・・・ 「注意しなさい！」（上記の『警告』、『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）

・・・・ 「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）

・・・・ 「分解してはいけません！」

・・・・ 「バスルームやシャワールームなどの水場で使用してはいけません！」

・・・・ 「指示した場所に触れてはいけません！」

・・・・ 「指示した場所に濡れた手で触れてはいけません！」

・・・・ 「火気を近づけてはいけません！」

・・・・ 「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

・・・・ 「電源プラグをコンセントから抜きなさい！」

・・・・ 「アース線を接続しなさい！」

⚠警告

次のような方が使用されるときには、便座スイッチを「低」、または「切」にして周りの方が十分注意してあげてください。

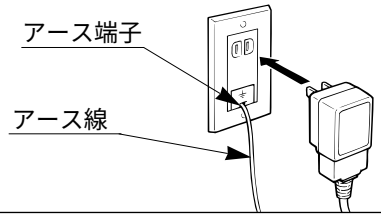
お子様、お年寄り、病気の方、ご自分で温度調節のできない方、皮膚の弱い方、皮膚感覚の弱い方、睡眠薬など眠気を誘う薬を服用された方、深酒、疲労の激しい方

※ 長時間使用されますと、低温ヤケドをおこす恐れがあります。

アースを確実に取り付けてください。

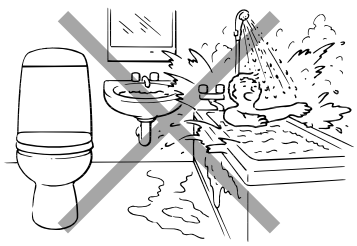
※ 故障や漏電のときに感電する恐れがあります。

※ コンセントにアース端子がない場合は、電気工事店にご相談ください。



バスルーム内など湿気の多い場所には、設置しないでください。

※感電・火災の原因となります。



電源プラグに付着したほこりは定期的にふき取ってください。その際は電源プラグを抜き、乾いた布でふき取ってください。

※絶縁不良により火災の原因になります。

濡れた手で、電源プラグを抜き差ししないでください。

※感電の原因になります。

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。

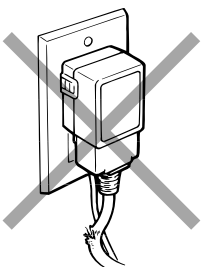
※ 感電・火災の原因や、異常作動してケガをすることがあります。

本体内に水や洗剤を入れないでください。本体や電源プラグ部に水をかけないでください。

※ 感電・火災の恐れがあります。

傷んだ電源プラグやコンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。

※ 感電・火災の原因となります。



乾燥スイッチを「高」、「中」で長時間使用しないでください。

※長時間使用されますと、ヤケドの恐れがあります。

上水道以外に接続しないでください。

※ ぼうこう炎や皮膚の炎症、および機械内部の腐食により感電・火災を起こす恐れがあります。

⚠注意

プラスチック部のお手入れには、便座に使用できる洗剤以外(トイレ用洗剤、住宅用洗剤、漂白剤、ベンジン、シンナー、クレンザー、クレゾール)は使用しないでください。

※ プラスチック部が割れてケガや感電・火災の原因となります。

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。

※ 電源コードが破損し、感電・火災の原因となります。

便座や本体カバーが破損した場合、コンセントから電源プラグを抜いて修理を依頼してください。

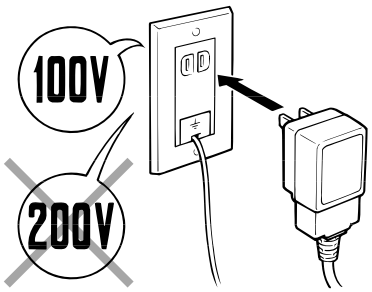
※ そのまま使用すると感電・火災の原因となります。

便フタや本体カバーの上に乗らないでください。

※ 破損してケガをすることがあります。

交流１００Ｖ以外では使用しないでください。

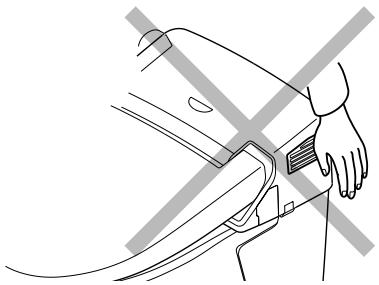
※ 感電・火災の原因となります。



部屋暖房の温風吹出口は高温になります。触れないでください。

〈部屋暖房付の場合〉

※ ヤケドの原因となります。



脱臭カートリッジ取付口の奥に脱臭ファンがありますので、指や脱臭カートリッジ以外の物を入れないでください。

※ 指をケガしたり故障の原因になります。

ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉めてください。また、ストレーナーを取り付ける際は、すき間がないようにしっかり締めてください。

※漏水の原因になります。

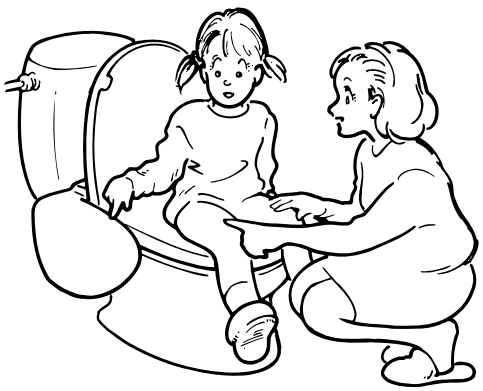
⚠注意

止水栓に手をかけたり、乗ったりしないでください。
※ 漏水やケガの原因となります。

本体カバーや便座、便フタは樹脂製です。タバコや灰皿などの火気類を近づけないでください。
※火災の原因となります。

便器の陶器部にヒビが入ったり、割れたりしたら破損部は絶対に触らないでください。
※ 破損部でケガをすることがあります。
早めに交換してください。

小さなお子様や、お年寄り、身体の不自由な方が使用されるときは、間違った操作やあぶないことをしないように充分に注意してあげてください。



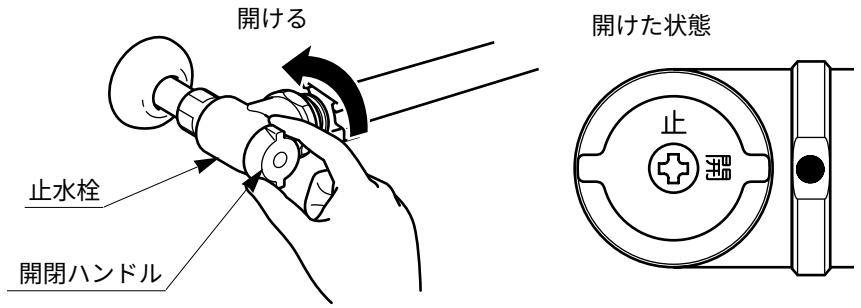
ご使用中に普段と異なった音や煙、ニオイなどがしたら、ただちに使用をやめて電源プラグをコンセントから抜き、お求めの取扱店または(株)INAXメンテナンスにご連絡ください。

お使いになる前に確認してください

シャワートイレをはじめて使用される前に必ず下記の項目を確認してください。

1 止水栓が開いていることを確認します。

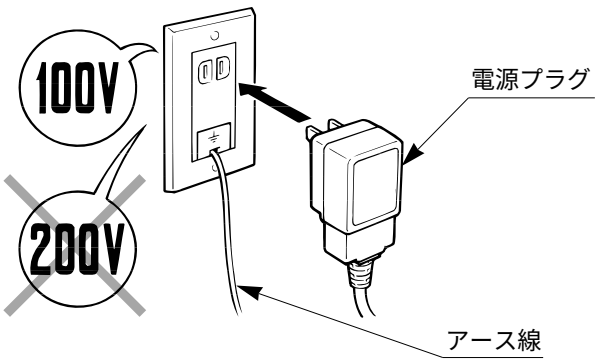
止水栓が閉まっている場合は、開閉ハンドルを左に90°回します。



2 電源プラグとアース線をコンセントに接続します。

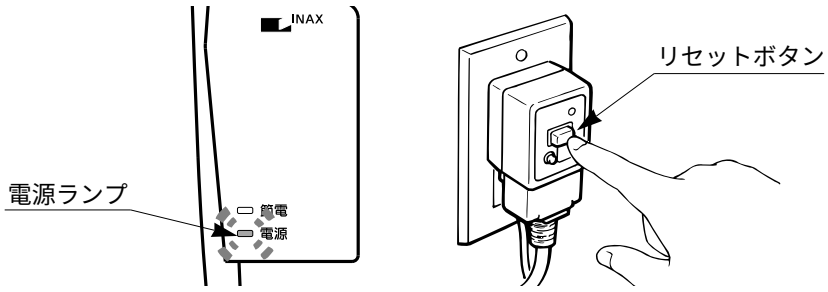
1. アース線をコンセントのアース端子に接続します。

2. 電源プラグを交流(AC)100Vのコンセントに差し込みます。

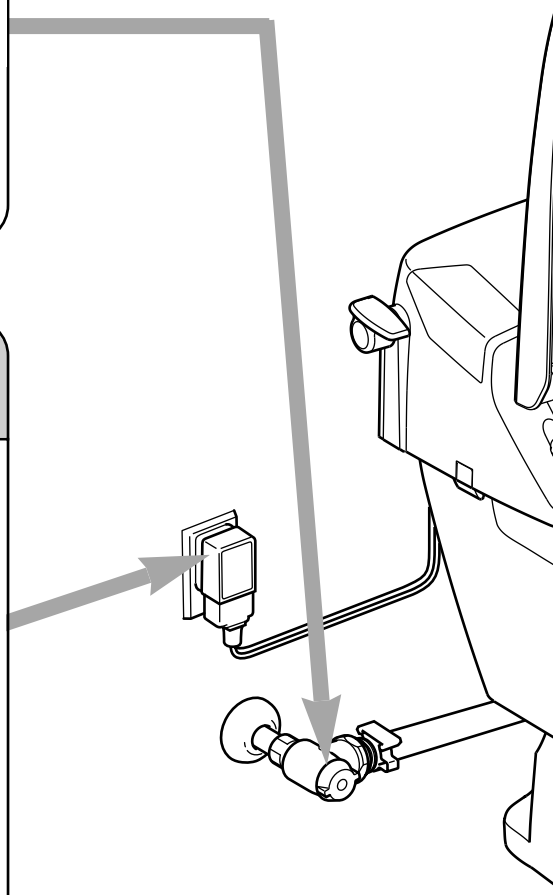


3. 表示部の電源ランプが点灯していることを確認します。

表示部の電源ランプ（赤）が点灯します。
もし、電源ランプが点灯しなかったら電源プラグのリセットボタンを押してください。



※電源プラグには、シャワートイレ内部で万一漏電が起こった場合、電気を遮断する安全装置が付いています。



3 おしり洗浄を確認します。

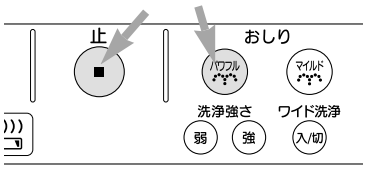
1. 腕を便座にのせたまま、おしり（パワフル）スイッチを押します。

2. ノズルが伸びてきたら、先端に手をかざしてシャワーを受け止めてください。

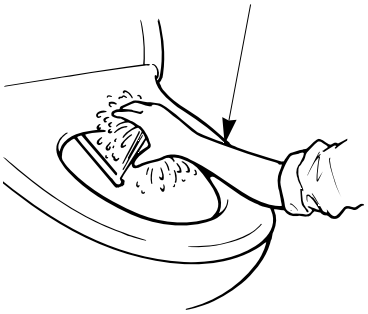
ただし温水タンクが満水でないと約1分かかることがあります。

壁リモコン

インテリアリモコン



腕まくりをして肌で直接便座に触ってください。



3. シャワーを止めるときは、止スイッチを押してください。

ご使用方法（13ページ以降）をご覧になって他の機能も確認してください。

※ 便座に**着座センサー**が付いていますので、便座に触れていないとおしり洗浄は作動しません。

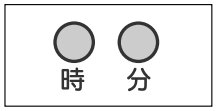
■ 時計の合わせ方

※AM (午前)、PM (午後)に注意してください。

「時」と「分」スイッチを押して時刻を合わせます。

(☞4ページ)

時刻合わせスイッチ



表示部

⚠ 警告

アースを確実に取り付けてください。

※ 故障や漏電のときに感電する恐れがあります。

※ コンセントにアース端子がない場合は、電気工事店にご相談ください。

⚠ 注意

交流100V以外では使用しないでください。

※ 感電・火災の原因となります。

ご使用方法

《ご使用前に準備してください》

シャワートイレを使用する前に下記の操作をしますと、より快適にご使用になれます。

〈壁リモコンの場合〉

■電源（電源の入／切）

電源スイッチを押して電源の入／切をします。

※ 電源が入ると表示部の電源ランプが点灯します。

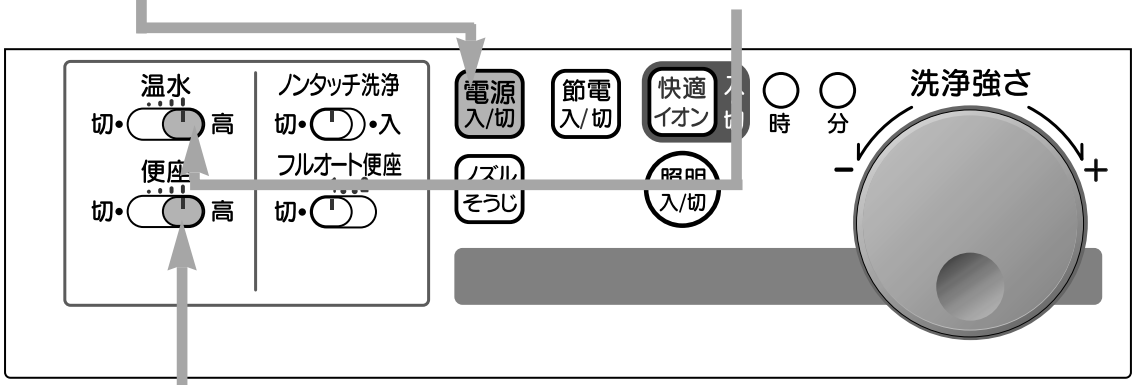
※ 電源プラグをコンセントに差し込むと自動的に電源は「入」の状態になります。

■温水（シャワーの温めかた）

温水スイッチでシャワーの温度を調節します。

スイッチは4段階（「高」、「中」、「低」、「切」）に切り替えできますので、お好みの温度に設定してください。

※ シャワーはすぐには温まりません。あらかじめ使用する10～15分前にスイッチを入れておけば、快適にご使用できます。



■便座（便座の暖めかた）

便座スイッチで便座の温度を調節します。

スイッチは4段階（「高」、「中」、「低」、「切」）に切り替えできますので、お好みの温度に設定してください。

※ 便座はすぐには暖まりません。あらかじめ使用する10～15分前にスイッチを入れておけば、快適にご使用できます。

⚠ 警告

次のような方が使用されるときには、便座スイッチを「低」、または「切」にして周りの方が十分注意してあげてください。

お子様、お年寄り、病気の方、ご自分で温度調節のできない方、皮膚の弱い方、皮膚感覚の弱い方、睡眠薬など眠気を誘う薬を服用された方、深酒、疲労の激しい方

※ 長時間使用されますと、低温ヤケドをおこす恐れがあります。

参考

座ると自動的に便座ヒーターを切って、低温ヤケドをおこしにくくする“便座ヒーターオートOFF”機能が付いています。（☞36ページ参照）

〈インテリアリモコンの場合〉

■電源（電源の入／切）

電源スイッチを押して電源の入／切をします。

※ 電源が入ると表示部の電源ランプが点灯します。

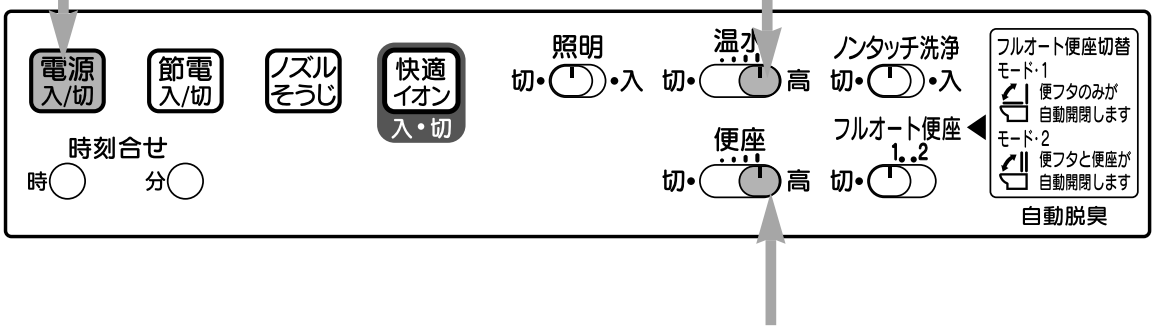
※ 電源プラグをコンセントに差し込むと自動的に電源は「入」の状態になります。

■温水（シャワーの温めかた）

温水スイッチでシャワーの温度を調節します。

スイッチは4段階（「高」、「中」、「低」、「切」）に切り替えできますので、お好みの温度に設定してください。

※ シャワーはすぐには温まりません。あらかじめ使用する10~15分前にスイッチを入れておけば、快適にご使用できます。



■便座（便座の暖めかた）

便座スイッチで便座の温度を調節します。

スイッチは4段階（「高」、「中」、「低」、「切」）に切り替えできますので、お好みの温度に設定してください。

※ 便座はすぐには暖まりません。あらかじめ使用する10～15分前にスイッチを入れておけば、快適にご使用できます。

⚠ 警告

次のような方が使用されるときには、便座スイッチを「低」、または「切」にして周りの方が十分注意してあげてください。

お子様、お年寄り、病気の方、ご自分で温度調節のできない方、皮膚の弱い方、皮膚感覚の弱い方、睡眠薬など眠気を誘う薬を服用された方、深酒、疲労の激しい方

※ 長時間使用されますと、低温ヤケドをおこす恐れがあります。

参考

座ると自動的に便座ヒーターを切って、低温ヤケドをおこしにくくする“便座ヒーターオートOFF”機能が付いています。（☞36ページ参照）

《操作は簡単です》

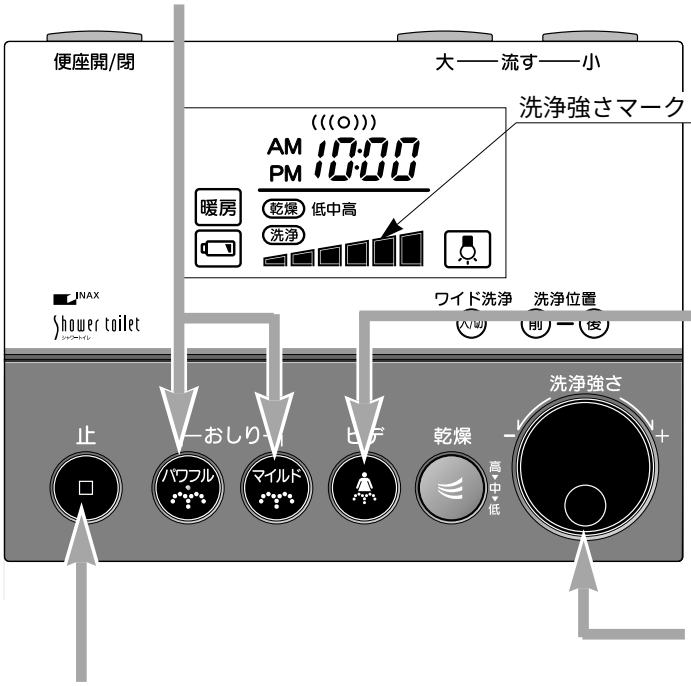
〈壁リモコンの場合〉

■おしり洗浄

1 おしりのパワフルまたはマイルドスイッチを押します。

ノズルの先端からシャワーがでて、おしりを洗います。

※ 力強く洗浄する**パワフル洗浄**と、たっぷりの湯量で優しく洗浄する**マイルド洗浄**の2種類があります。
※ おしり洗浄中も洗浄強さは調節できます。



3 止めるときは止スイッチを押します。

※ おしりおよびビデ洗浄は、2分後に自動的に停止するセルフストップ機構付きです。

注意

- 水道圧が低いところでは、洗浄強さを弱くすると、ノズルが出ないことがあります。このような場合は、洗浄強さを強くしてください。
- 便座には、深く腰掛けてください。
  深く腰掛けるとシャワーの飛び散りが少なくなります。

■ビデ洗浄

1 ビデスイッチを押します。

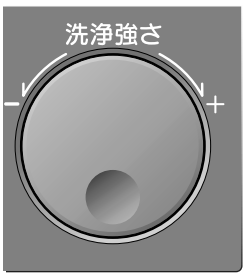
ノズルの先端からシャワーがでて、女性のデリケートな部分を洗います。

※ ビデ洗浄中も洗浄強さは調節できます。

2 洗浄強さダイアルを回してシャワーの強さを調節します。

お好みに合わせて6段階に調節ができます。

弱くする場合
左に回します。



強くする場合
右に回します。

※ 洗浄強さは液晶表示部の洗浄強さマークに表示されます。

参考

洗浄強さを一番弱くしてもまだ強いと思われる方のために、シャワーを最弱にする機能が付いています。(☞38ページ参照)

〈インテリアリモコンの場合〉

■おしり洗浄

1 おしりのパワフルまたはマイルドスイッチを押します。

ノズルの先端からシャワーがでて、おしりを洗います。

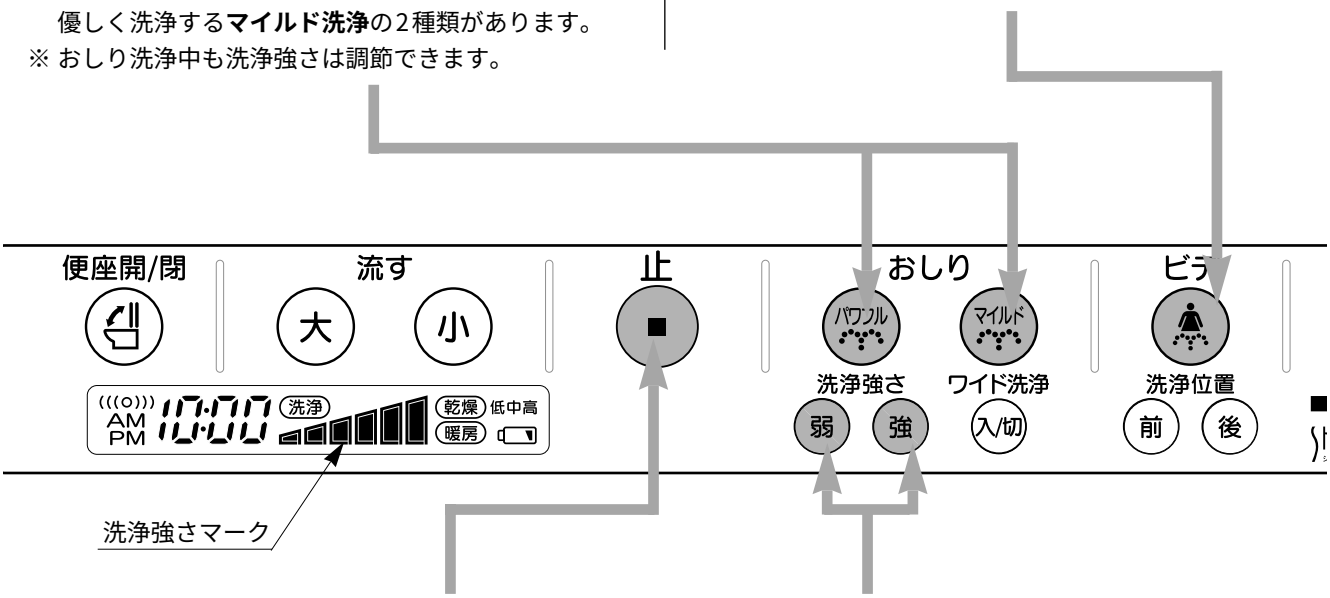
※ 力強く洗浄する**パワフル洗浄**と、たっぷりの湯量で優しく洗浄する**マイルド洗浄**の2種類があります。
※ おしり洗浄中も洗浄強さは調節できます。

■ビデ洗浄

1 ビデスイッチを押します。

ノズルの先端からシャワーがでて、女性のデリケートな部分を洗います。

※ ビデ洗浄中も洗浄強さは調節できます。



3 止めるときは止スイッチを押します。

※ おしりおよびビデ洗浄は、2分後に自動的に停止するセルフストップ機構付きです。

2 洗浄強さの「強」または「弱」スイッチを押してシャワーの強さを調節します。

お好みに合わせて6段階に調節ができます。

※ 洗浄強さは液晶表示部の洗浄強さマークに表示されます。

注意

- ●水道圧が低いところでは、洗浄強さを弱くすると、ノズルが出ないことがあります。このような場合は、洗浄強さを強くしてください。
- ● 便座には、深く腰掛けてください。
  深く腰掛けるとシャワーの飛び散りが少なくなります。

参考

洗浄強さを一番弱くしてもまだ強いと思われる方のために、シャワーを最弱にする機能が付いています。(☞38ページ参照)

〈壁リモコンの場合〉

■ワイド洗浄

1 ワイド洗浄スイッチを押します。

おしりまたはビデ洗浄中にノズルが前後に動いて広い範囲を洗浄します。

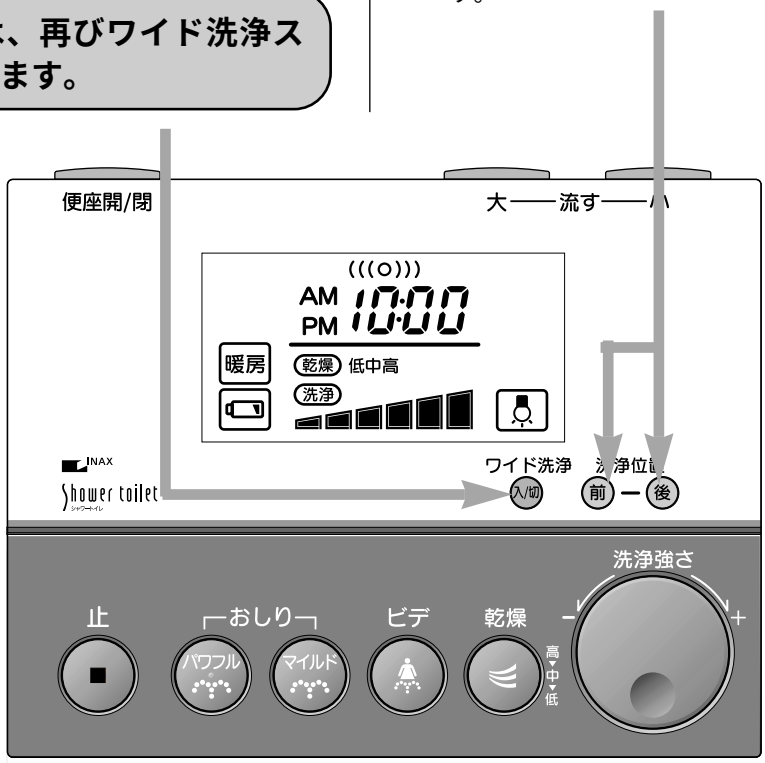
2 止めるときは、再びワイド洗浄スイッチを押します。

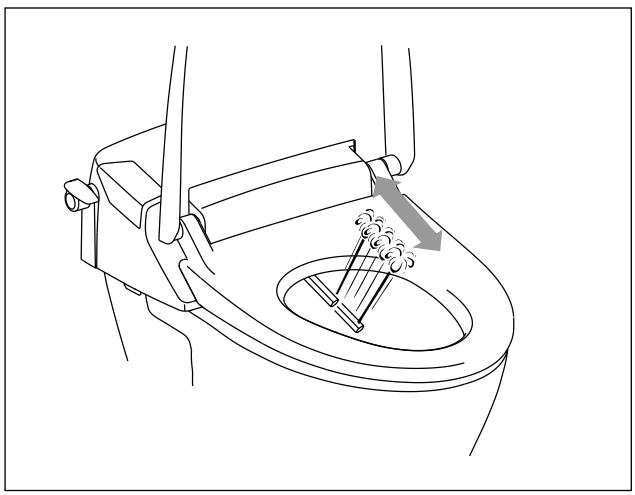
■洗浄位置の調節

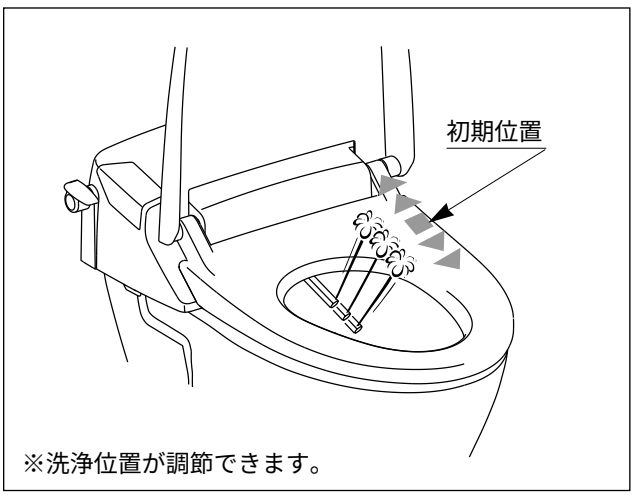
洗浄位置の「前」または「後」スイッチを押します。

おしりまたはビデ洗浄中に洗浄位置を全5段階に調節することができます。

※ 便座から立ち上がると、自動的に初期位置に戻ります。







※洗浄位置が調節できます。

〈インテリアリモコンの場合〉

■ワイド洗浄

1 ワイド洗浄スイッチを押します。

おしりまたはビデ洗浄中にノズルが前後に動いて広い範囲を洗浄します。

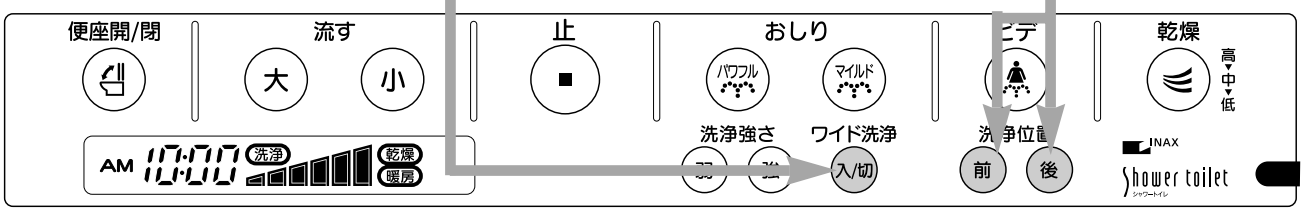
2 止めるときは、再びワイド洗浄スイッチを押します。

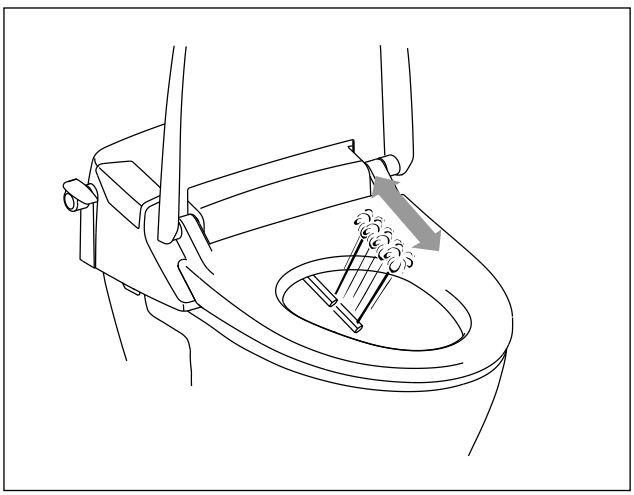
■洗浄位置の調節

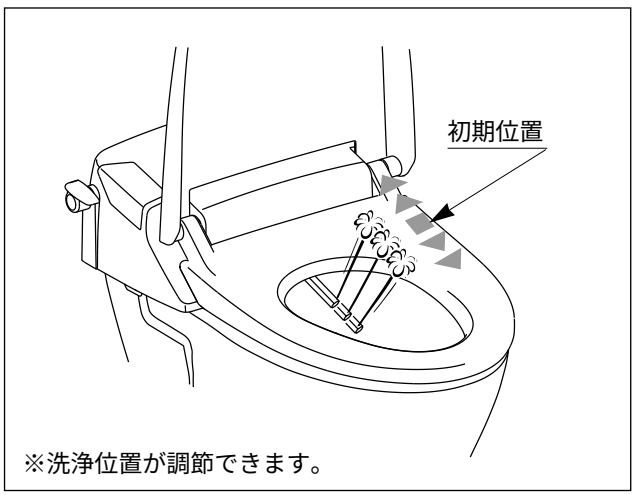
洗浄位置の「前」または「後」スイッチを押します。

おしりまたはビデ洗浄中に洗浄位置を全5段階に調節することができます。

※ 便座から立ち上がると、自動的に初期位置に戻ります。







※洗浄位置が調節できます。

〈壁リモコンの場合〉

■乾燥

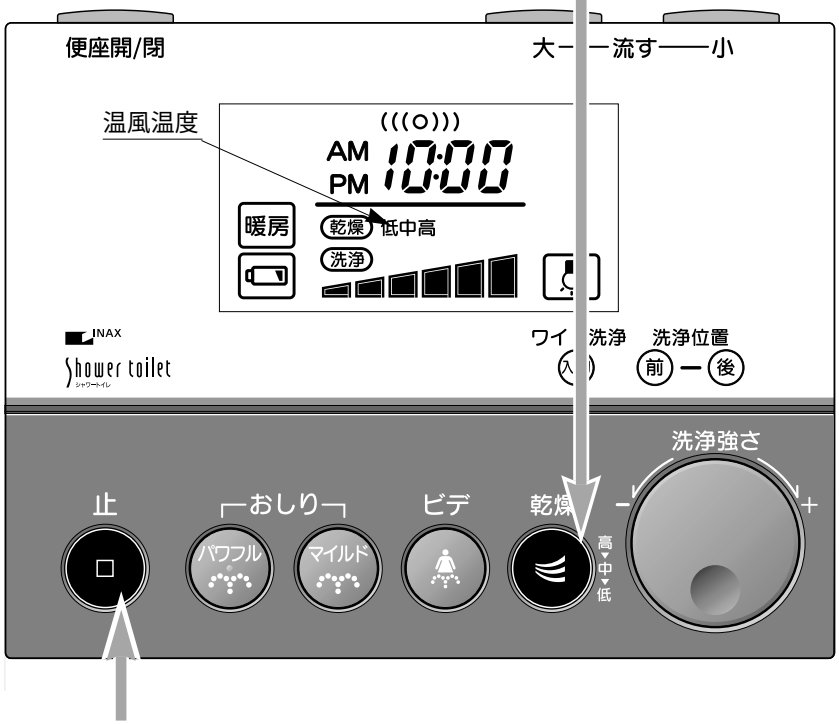
1 **乾燥スイッチを押します。**

温風がでて、シャワーで濡れた部分を乾燥します。

2 **温風温度を変えるときは、再び乾燥スイッチを押します。**

スイッチを押すたびに温風温度が「高」「中」「低」と切り替わりますのでお好みの温度に設定してください。

※ 温風温度は液晶表示部に表示されます。



3 **止めるときは止スイッチを押します。**

※ 乾燥は、4分後に自動的に停止するセルフストップ機構付きです。

⚠ 警告

乾燥スイッチを「高」、「中」で長時間使用しないでください。

※ 長時間使用されますと、ヤケドの原因の恐れがあります。

参考

- 洗浄後、トイレットペーパーで軽く水滴を取ってから乾燥スイッチを押せば、素早く乾燥できます。
- 温風温度が「高」から始まるパターンを「低」から始まるパターンに切り替える“温風「低」始動”機能が付いています。(☞36ページ参照)

〈インテリアリモコンの場合〉

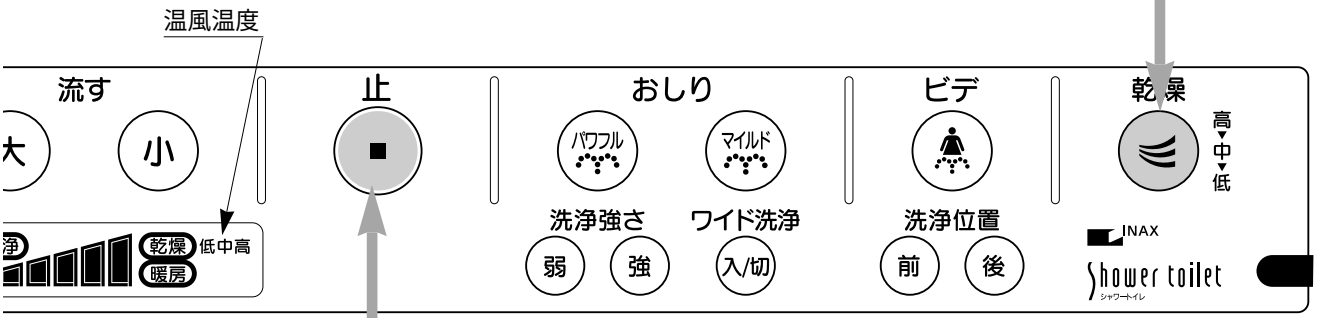
■乾燥

1 **乾燥スイッチを押します。**

温風がでて、シャワーで濡れた部分を乾燥します。

2 **温風温度を変えるときは、再び乾燥スイッチを押します。**

スイッチを押すたびに温風温度が「高」「中」「低」と切り替わりますのでお好みの温度に設定してください。



3 **止めるときは止スイッチを押します。**

※ 乾燥は、4分後に自動的に停止するセルフストップ機構付きです。

⚠ 警告

乾燥スイッチを「高」、「中」で長時間使用しないでください。

※ 長時間使用されますと、ヤケドの原因の恐れがあります。

参考

- 洗浄後、トイレットペーパーで軽く水滴を取ってから乾燥スイッチを押せば、素早く乾燥できます。
- 温風温度が「高」から始まるパターンを「低」から始まるパターンに切り替える“温風「低」始動”機能が付いています。(☞36ページ参照)

■脱臭

電動開閉付の場合

1 便座の前に立つと脱臭を始めます。

※ 着座時以外は、脱臭ファン能力を上げてより広い範囲のニオイを吸い込んで除去します。

2 便座から立ち上がると約1分後に停止します。

※ シャワートイレ本体にニオイを吸収する脱臭カートリッジが装着されています。(☞48ページ)

電動開閉無の場合

1 便座に座ると脱臭を始めます。

※ 着座時以外は、脱臭ファン能力を上げてより広い範囲のニオイを吸い込んで除去します。

■脱臭を「切」にしたい場合に

●操作方法

止スイッチとビデスイッチを同時に2秒以上押し続けます。(セット完了時、「ピッピッ」という音が鳴ります。)

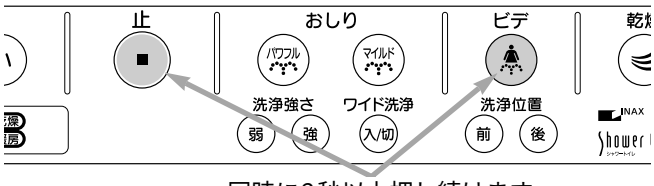
「切」にすると脱臭を行わなくなります。

その後、「入」にする場合も止スイッチとビデスイッチを同時に2秒以上押し続けます。

壁リモコンの場合

同時に2秒以上押し続けます。

インテリアリモコンの場合



同時に2秒以上押し続けます。

〈壁リモコンの場合〉

■スーパーノズルクリーニング

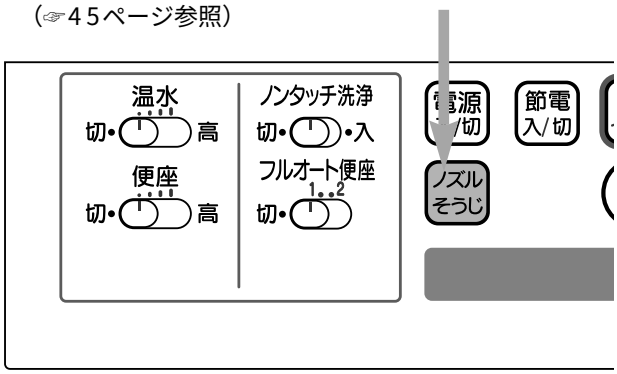
ノズルそうじスイッチを押します。

ノズルが本体に収納されたまま約5秒間洗浄します。このときノズルの奥から水が出て、ノズルを洗います。

※ このシャワートイレはおしり・ビデ洗浄前に、自動的にノズル周辺をぬらしておくことで汚れを付きにくくしています。

※ このシャワートイレはオートクリーニング機能付で、おしり・ビデ洗浄後、自動的にノズルやその周辺を幅広く洗います。

※ ノズルを引き出してご自分でも掃除できます。
（☞45ページ参照）



〈インテリアリモコンの場合〉

■スーパーノズルクリーニング

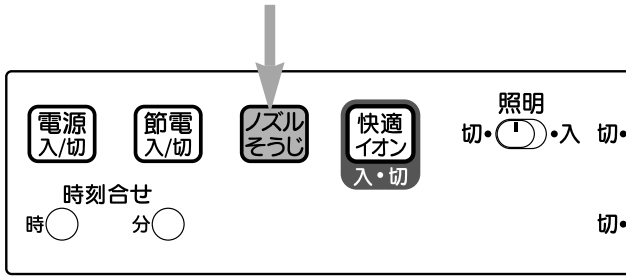
ノズルそうじスイッチを押します。

ノズルが本体に収納されたまま約5秒間洗浄します。このときノズルの奥から水が出て、ノズルを洗います。

※ このシャワートイレはおしり・ビデ洗浄前に、自動的にノズル周辺をぬらしておくことで汚れを付きにくくしています。

※ このシャワートイレはオートクリーニング機能付で、おしり・ビデ洗浄後、自動的にノズルやその周辺を幅広く洗います。

※ ノズルを引き出してご自分でも掃除できます。
（☞45ページ参照）



■スーパーノズルクリーニングを「切」にしたい場合に

●操作方法

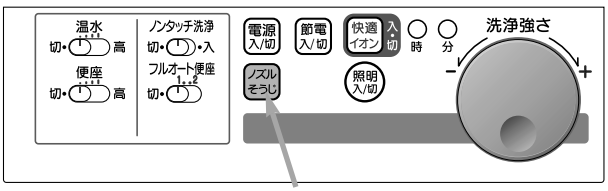
ノズルそうじスイッチを2秒以上押し続けます。（セット完了時、「ピッピッ」という音が鳴ります。）

「切」にするとおしり・ビデ洗浄前にノズル洗浄を行わなくなります。

その後、「入」にする場合もノズルそうじスイッチを2秒以上押し続けます。

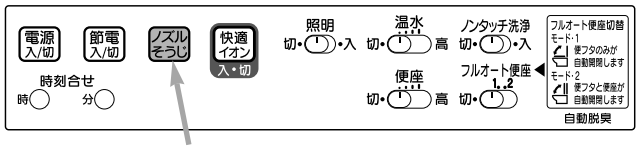
※ オートクリーニング機能は働きます。

壁リモコンの場合



2秒以上押し続けます。

インテリアリモコンの場合



2秒以上押し続けます。

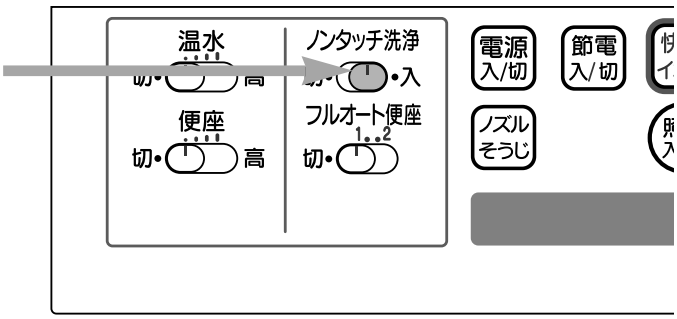
〈壁リモコンの場合〉

■便器洗浄

便器洗浄には4通りの方法があります。
1. 便座から立ち上がると数秒後に自動で洗浄を行う **“ ノンタッチ大小洗浄 ”**。
2. リモコンの流すスイッチを押して便器洗浄を行う **“ 便器自動洗浄 ”**。
3. 本体側面の洗浄ハンドルを操作して行う **“ 手動洗浄 ”**。
4. 便器から離れると約1秒後に自動で小洗浄を行う **“ ノンタッチ男子小洗浄 ”**。
（機種によっては、この機能がない場合があります。）

1. ノンタッチ大小洗浄について

1 ノンタッチ洗浄スイッチを「入」にします。



※ ノンタッチ大小洗浄は座った時間を自動的に判別して「大洗浄」、「小洗浄」を行います。立って小用した場合はリモコンの流すスイッチの「小」を押してください。
電動開閉付の場合はノンタッチ男子小洗浄で、自動的に小洗浄します。（☞24ページ参照）

※ 座る時間が6秒以上、50秒未満の場合「小洗浄」を行います。
ただし、おしり洗浄を行った場合は50秒未満であっても「大洗浄」を行います。

参考

ノンタッチ大小洗浄は、便座から立ち上がってから約6秒後、自動的に便器洗浄を開始します。
この開始時間を、約15秒後に切り替えることができます。（☞37ページ参照）

2 使用しないときは、ノンタッチ洗浄スイッチを「切」にします。

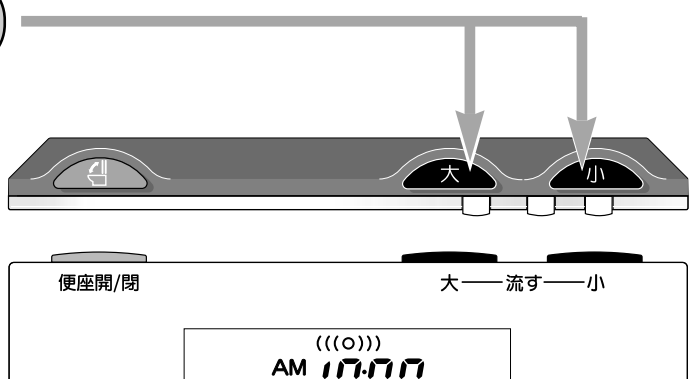
注意

便器洗浄中に電源を切らないでください。洗浄中に電源を切ったり、停電した場合、水が流れっ放しになります。そんな場合は止水栓を止めてください。電源を入れると洗浄ハンドルは元の位置に戻ります。（☞42ページ参照）

2. 便器自動洗浄のしかた

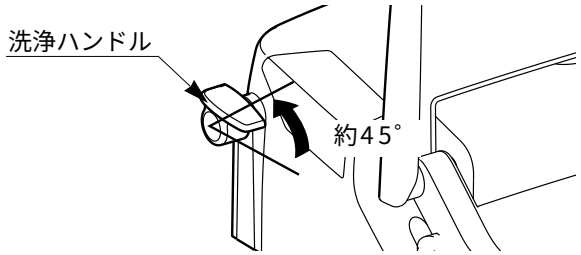
「大」：大便時に押します。
「小」：小便時に押します。

※ 大便時に「小」スイッチを押すと、汚物が流れないことがあります。



3. 手動洗浄のしかた

洗浄ハンドルを奥に約45°回して、手を離します。



※ 本体から〝ピッ〟と音がして、自動的に便器洗浄を行います。

注意

- 停電したときは上記の方法で便器洗浄することができません。「停電したときの便器洗浄のしかた」に従って便器内を洗浄してください。(☞41ページ参照)
- 反対側には回さないでください。
  洗浄水が流れっ放しになります。

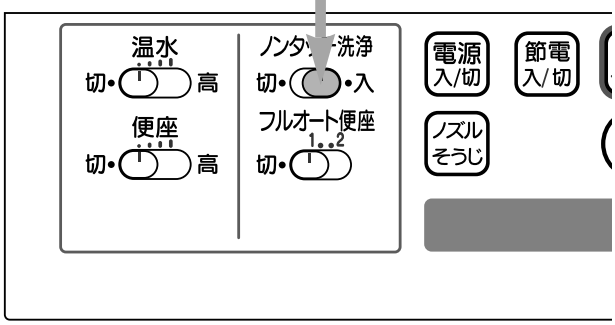
4. ノンタッチ男子小洗浄のしかた

※機種によっては、この機能がない場合があります。

1 ノンタッチ洗浄スイッチを「入」にします。

便器から離れると約1秒後に小洗浄します。

※ 便座が開いた状態で便器の前に6秒以上立っていないと、小洗浄しません。



2 使用しないときは、ノンタッチ洗浄スイッチを「切」にします。

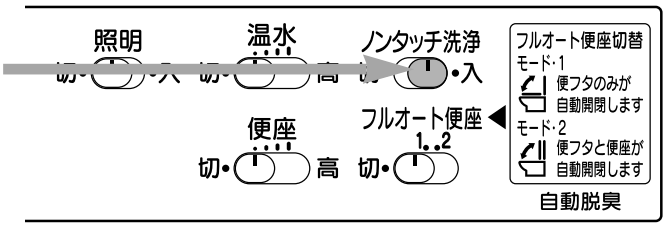
〈インテリアリモコンの場合〉

■便器洗浄

便器洗浄には4通りの方法があります。
1. 便座から立ち上がると数秒後に自動で洗浄を行う **“ ノンタッチ大小洗浄 ”**。
2. リモコンの流すスイッチを押して便器洗浄を行う **“ 便器自動洗浄 ”**。
3. 本体側面の洗浄ハンドルを操作して行う **“ 手動洗浄 ”**。
4. 便器から離れると約1秒後に自動で小洗浄を行う **“ ノンタッチ男子小洗浄 ”**。
（機種によっては、この機能がない場合があります。）

1. ノンタッチ大小洗浄について

1 ノンタッチ洗浄スイッチを「入」にします。



※ ノンタッチ大小洗浄は座った時間を自動的に判別して「大洗浄」、「小洗浄」を行います。立って小用した場合はリモコンの流すスイッチの「小」を押してください。
電動開閉付の場合はノンタッチ男子小洗浄で、自動的に小洗浄します。（☞26ページ参照）
※ 座る時間が6秒以上、50秒未満の場合「小洗浄」を行います。
ただし、おしり洗浄を行った場合は50秒未満であっても「大洗浄」を行います。

2 使用しないときは、ノンタッチ洗浄スイッチを「切」にします。

参考

ノンタッチ大小洗浄は、便座から立ち上がってから約6秒後、自動的に便器洗浄を開始します。
この開始時間を、約15秒後に切り替えることができます。（☞37ページ参照）

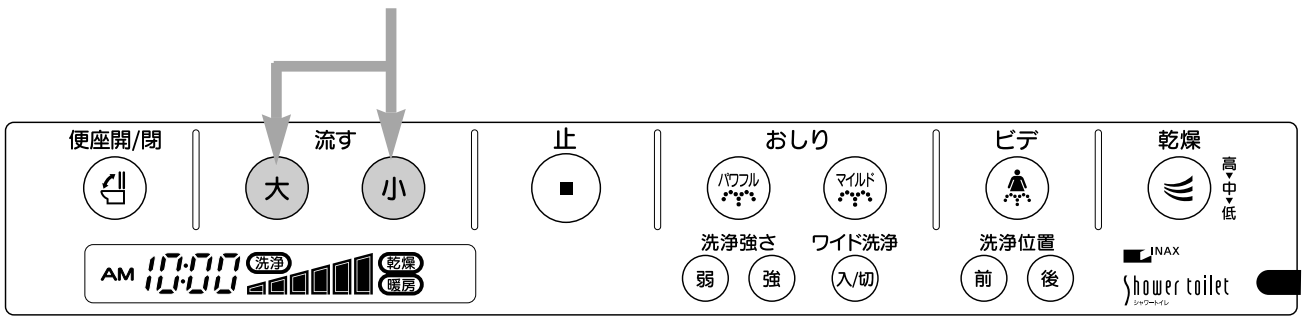
注意

便器洗浄中に電源を切らないでください。洗浄中に電源を切ったり、停電した場合、水が流れっ放しになります。そんな場合は止水栓を止めてください。電源を入れると洗浄ハンドルは元の位置に戻ります。（☞42ページ参照）

2. 便器自動洗浄のしかた

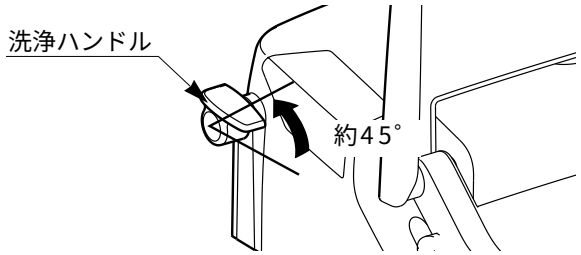
「大」：大便時に押します。
「小」：小便時に押します。

※ 大便時に「小」スイッチを押すと、汚物が流れないことがあります。



3. 手動洗浄のしかた

洗浄ハンドルを奥に約45°回して、手を離します。



※ 本体から〝ピッ〟と音がして、自動的に便器洗浄を行います。

注意

- 停電したときは上記の方法で便器洗浄することができません。「停電したときの便器洗浄のしかた」に従って便器内を洗浄してください。(☞41ページ参照)
- 反対側には回さないでください。
  洗浄水が流れっ放しになります。

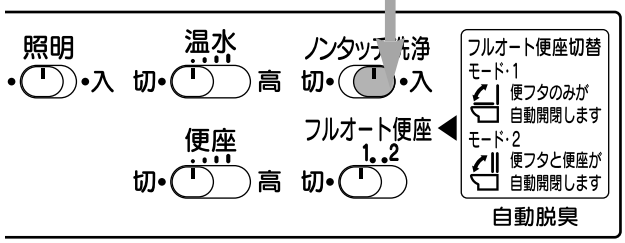
4. ノンタッチ男子小洗浄のしかた

※機種によっては、この機能がない場合があります。

1 ノンタッチ洗浄スイッチを「入」にします。

便器から離れると約1秒後に小洗浄します。

※ 便座が開いた状態で便器の前に6秒以上立っていないと、小洗浄しません。



2 使用しないときは、ノンタッチ洗浄スイッチを「切」にします。

〈壁リモコンの場合〉

■節電

節電機能には**スーパー節電**と**節電切タイマー**の2種類があります。
スーパー節電とは、トイレ使用時（便フタ開状態）以外は、温水と便座の温度を下げて、消費電力を抑える節電です。
節電切タイマーとは、長時間使用しない夜間など6時間、温水と便座のヒーターを切にして消費電力を抑える節電です。スーパー節電と併用することで、さらに効果的な節電が行えます。

スーパー節電（常時）

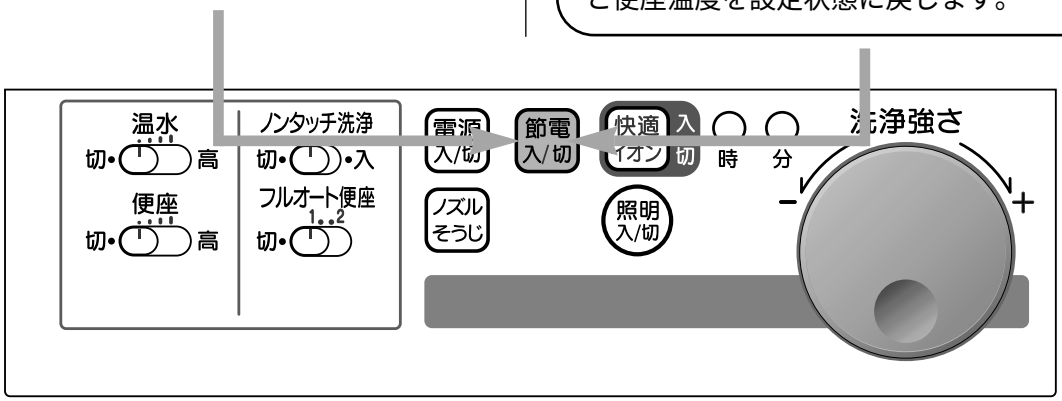
1 **節電スイッチを2秒以上押し続けます。**（表示ランプ点滅下記参照）

設定を解除するまで節電を続け、トイレ使用時には温水温度と便座温度を設定状態に戻します。

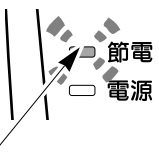
節電切タイマー（6時間）

1 **節電スイッチを押します。**
（表示ランプ点滅下記参照）

押してから6時間、温水ヒーターと便座ヒーターへの通電を停止します。6時間後、温水温度と便座温度を設定状態に戻します。

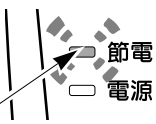


※ 便フタが閉じている間は常に節電しています。スーパー節電が作動しているときは、表示ランプが0.5秒間隔で2回づつ点滅します。



※ 便フタが開いている間は、節電されません。(表示ランプ点灯)

※ 節電切タイマーが作動しているときは、表示ランプが0.5秒間隔で1回づつ点滅します。



※ 6時間経過すると、自動的に機能はもとの状態に戻り、節電ランプは点滅から消灯に切り替わります。

※ 節電切タイマーは1日に、何度でも設定できます。

2 **切るときは、再び節電スイッチを2秒以上押し続けます。**（表示ランプ消灯）

※ 節電切タイマー作動中は、スーパー節電の設定・解除ができません。

2 **途中で解除するときは、再び節電スイッチを押します。**（表示ランプ消灯）

※ 節電時は温水と便座の温度を下げているため、冷たいと感じる場合があります。
その際は節電を解除してください。

※ 節電スイッチを切っている状態でも便フタを閉じておくと節電に効果的です。

〈インテリアリモコンの場合〉

■節電

節電機能には**スーパー節電**と**節電切タイマー**の2種類があります。
スーパー節電とは、トイレ使用時（便フタ開状態）以外は、温水と便座の温度を下げて、消費電力を抑える節電です。
節電切タイマーとは、長時間使用しない夜間など6時間、温水と便座のヒーターを切にして消費電力を抑える節電です。スーパー節電と併用することで、さらに効果的な節電が行えます。

スーパー節電（常時）

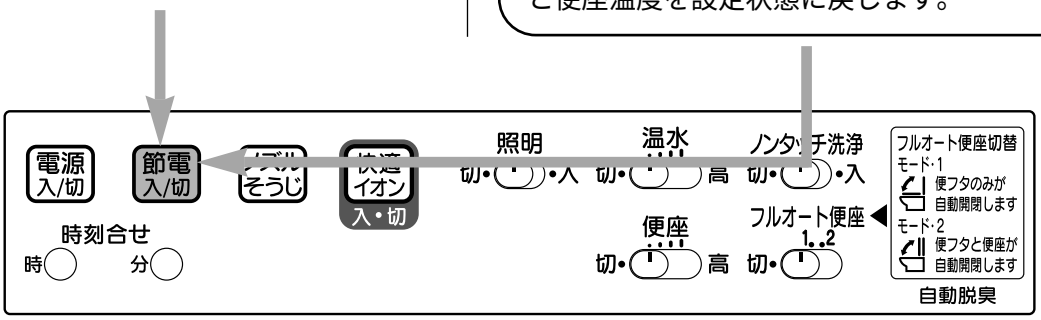
1 **節電スイッチを2秒以上押し続けます。**（表示ランプ点滅下記参照）

設定を解除するまで節電を続け、トイレ使用時には温水温度と便座温度を設定状態に戻します。

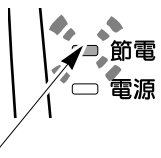
節電切タイマー（6時間）

1 **節電スイッチを押します。**
（表示ランプ点滅下記参照）

押してから6時間、温水ヒーターと便座ヒーターへの通電を停止します。6時間後、温水温度と便座温度を設定状態に戻します。

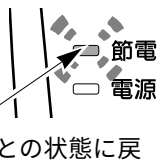


※ 便フタが閉じている間は常に節電しています。スーパー節電が作動しているときは、表示ランプが0.5秒間隔で2回づつ点滅します。



※ 便フタが開いている間は、節電されません。(表示ランプ点灯)

※ 節電切タイマーが作動しているときは、表示ランプが0.5秒間隔で1回づつ点滅します。



※ 6時間経過すると、自動的に機能はもとの状態に戻り、節電ランプは点滅から消灯に切り替わります。

※ 節電切タイマーは1日に、何度でも設定できます。

2 **切るときは、再び節電スイッチを2秒以上押し続けます。**（表示ランプ消灯）

※ 節電切タイマー作動中は、スーパー節電の設定・解除ができません。

2 **途中で解除するときは、再び節電スイッチを押します。**（表示ランプ消灯）

※ 節電時は温水と便座の温度を下げているため、冷たいと感じる場合があります。
その際は節電を解除してください。

※ 節電スイッチを切っている状態でも便フタを閉じておくと節電に効果的です。

〈壁リモコンの場合〉

■フルオート便座（便フタ・便座電動開閉）

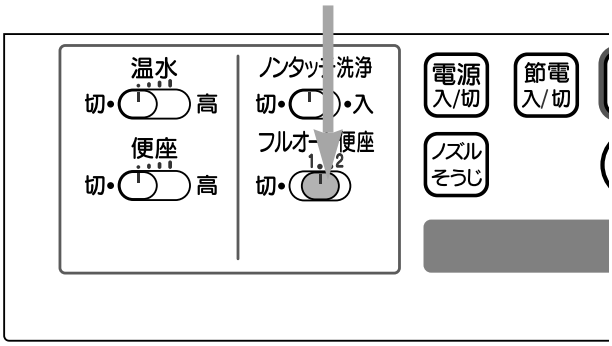
※機種によっては、この機能がない場合があります。

ノンタッチ開閉

1 フルオート便座スイッチを「1」（モード1）にします。

便器の前に立つと便フタが自動で開きます。
便器から離れると約1分後に閉まります。

※ フルオート便座スイッチを「2」（モード2）にしておくと便器の前に立つと便座・便フタが開き、便器から離れて約1分後に便座・便フタが閉まります。

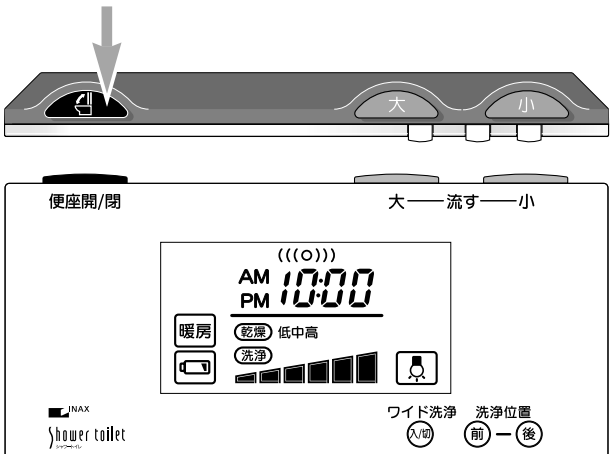


2 使用しないときは、フルオート便座スイッチを「切」にします。

便座電動開閉

1 便座開/閉スイッチを押します。

便座が開きます。



2 便座を閉めるときは、再び便座開/閉スイッチを押します。

※ フルオート便座スイッチを「1」または「2」にしておくと便器から離れて約1分後に便座・便フタが閉まります。

「1」の場合
（便フタのみの開）

「2」の場合
（便フタ・便座の開）

※ 人体検知センサーと着座センサーで人を検知して、便フタを自動的に開閉します。
※ 小さなお子様が使用するときは、リモコンのフルオート便座スイッチを「切」にしてください。
小さなお子様の場合、着座センサーが検知することができず、使用中に便フタが閉じてくることがまれにあります。

便フタおよび便座にカバーを取り付ける場合、当社の電動開閉専用の便フタカバー、シートカバーをご使用ください。（☞62ページ参照）他社製品や不適切なカバーをご使用の場合は、便座や便フタが電動で開かなかったり、不具合が生じる場合があります。

〈インテリアリモコンの場合〉

■フルオート便座（便フタ・便座電動開閉）

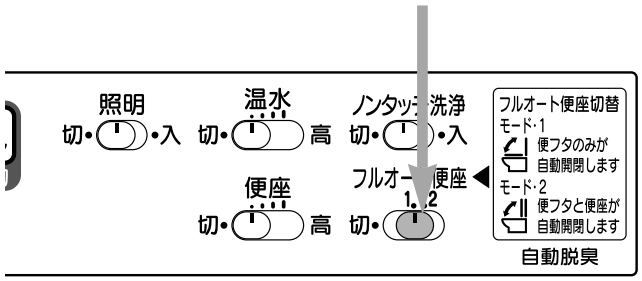
※機種によっては、この機能がない場合があります。

ノンタッチ開閉

1 フルオート便座スイッチを「1」（モード1）にします。

便器の前に立つと便フタが自動で開きます。
便器から離れると約1分後に閉まります。

※ フルオート便座スイッチを「2」（モード2）にしておくと便器の前に立つと便座・便フタが開き、便器から離れて約1分後に便座・便フタが閉まります。

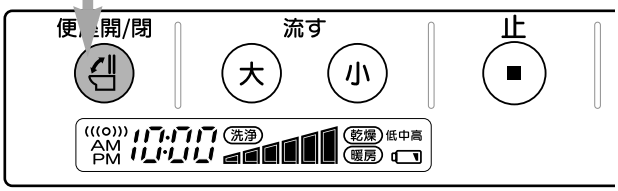


2 使用しないときは、フルオート便座スイッチを「切」にします。

便座電動開閉

1 便座開/閉スイッチを押します。

便座が開きます。



2 便座を閉めるときは、再び便座開/閉スイッチを押します。

※ フルオート便座スイッチを「1」または「2」にしておくと便器から離れて約1分後に便座・便フタが閉まります。

「1」の場合
（便フタのみの開）

「2」の場合
（便フタ・便座の開）

※ 人体検知センサーと着座センサーで人を検知して、便フタを自動的に開閉します。
※ 小さなお子様が使用するときは、リモコンのフルオート便座スイッチを「切」にしてください。
小さなお子様の場合、着座センサーが検知することができず、使用中に便フタが閉じてくることがまれにあります。

便フタおよび便座にカバーを取り付ける場合、当社の電動開閉専用の便フタカバー、シートカバーをご使用ください。（☞62ページ参照）他社製品や不適切なカバーをご使用の場合は、便座や便フタが電動で開かなかったり、不具合が生じる場合があります。

〈壁リモコンの場合〉

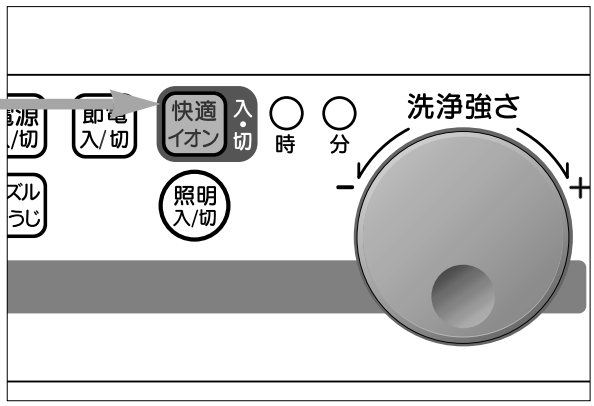
■プラズマクラスター

※機種によっては、この機能がない場合があります。

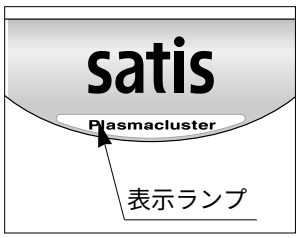
プラズマクラスターには、プラスイオンとマイナスイオンをバランス良く放出して臭いやカビ菌などを抑制するクリーンモードと、マイナスイオンを多く放出して心身をリフレッシュさせるリフレッシュモードがあります。
クリーンモードとリフレッシュモードは人体検知センサーと着座センサーで人を検知して自動で切り替わります。

1 快適イオンスイッチを押します。（表示ランプ点灯）

吹出口からイオンを放出して自動運転を開始します。



※ 人を検知しているときは自動的にリフレッシュモードになり、表示ランプは緑色に点灯します。
人を検知していないときはクリーンモードに切り替わり、表示ランプは青色に点灯します。



※ スイッチを押してから1時間はクリーンモードが連続運転して空気を浄化し、その後、断続運転に切り替わります。

2 止めるとき、または使用しないときは、再び快適イオンスイッチを押します。（表示ランプ消灯）

※ プラズマクラスター動作時には「チッチッチッ…」という音がします。気になる場合は、快適イオンスイッチを押して、「切」にしてください。

※ イオン発生器で発生するオゾンの臭いがすることがありますが、濃度はごくわずかで、健康上問題ありません。

〈インテリアリモコンの場合〉

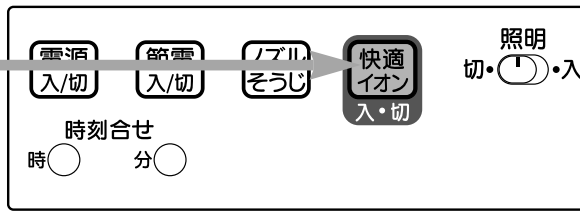
■プラズマクラスター

※機種によっては、この機能がない場合があります。

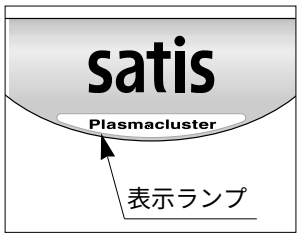
プラズマクラスターには、プラスイオンとマイナスイオンをバランス良く放出して臭いやカビ菌などを抑制するクリーンモードと、マイナスイオンを多く放出して心身をリフレッシュさせるリフレッシュモードがあります。
クリーンモードとリフレッシュモードは人体検知センサーと着座センサーで人を検知して自動で切り替わります。

1 快適イオンスイッチを押します。（表示ランプ点灯）

吹出口からイオンを放出して自動運転を開始します。



※ 人を検知しているときは自動的にリフレッシュモードになり、表示ランプは緑色に点灯します。
人を検知していないときはクリーンモードに切り替わり、表示ランプは青色に点灯します。



※ スイッチを押してから1時間はクリーンモードが連続運転して空気を浄化し、その後、断続運転に切り替わります。

2 止めるとき、または使用しないときは、再び快適イオンスイッチを押します。（表示ランプ消灯）

※ プラズマクラスター動作時には「チッチッチッ…」という音がします。気になる場合は、快適イオンスイッチを押して、「切」にしてください。

※ イオン発生器で発生するオゾンの臭いがすることがありますが、濃度はごくわずかで、健康上問題ありません。

〈壁リモコンの場合〉

■部屋暖房

※機種によっては、この機能がない場合があります。

1 暖房入／切スイッチを押します。（暖房表示点灯）

吹出口から温風が出て部屋を暖めます。

※ 室内の温度が設定より高い場合は、温風が出なかったり、途中で止まったりすることがありますが、故障ではありません。温度が低くなると再び温風が出て、温度を一定に保ちます。

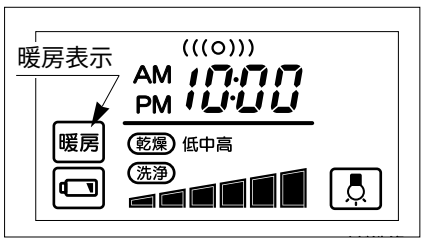
2 暖房温度を調節するときは、暖房温度スイッチを切り替えます。

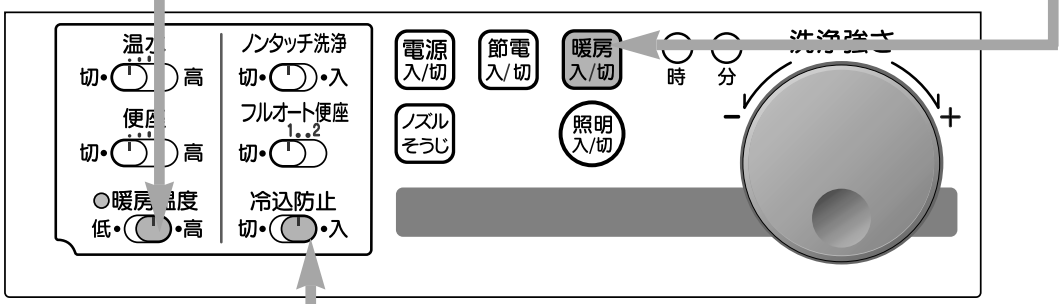
スイッチは「低」と「高」がありますので、お好みの温度にセットしてください。
「低」：約15℃、「高」：約20℃

※ ご使用の環境により、設定温度まで上がらない場合があります。

3 止めるとき、または使用しないときは、再び暖房入／切スイッチを押します。

※ 部屋暖房機能は、切忘れ防止のため24時間後に自動停止します。





■冷込防止

1 冷込防止スイッチを「入」にします。

室内が冷え込むと自動的に暖房を開始し、室温を約5℃に保ちます。

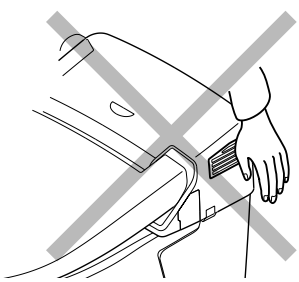
2 切るときは、冷込防止スイッチを「切」にします。

⚠ 注意

部屋暖房の温風吹出口は高温になります。触れないでください。

〈部屋暖房付の場合〉

※ ヤケドの原因となります。



〈インテリアリモコンの場合〉

■部屋暖房

※機種によっては、この機能がない場合があります。

1 暖房入／切スイッチを押します。（暖房表示点灯）

吹出口から温風が出て部屋を暖めます。

※ 室内の温度が設定より高い場合は、温風が出なかったり、途中で止まったりすることがありますが、故障ではありません。温度が低くなると再び温風が出て、温度を一定に保ちます。

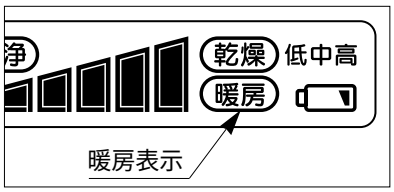
2 暖房温度を調節するときは、暖房温度スイッチを切り替えます。

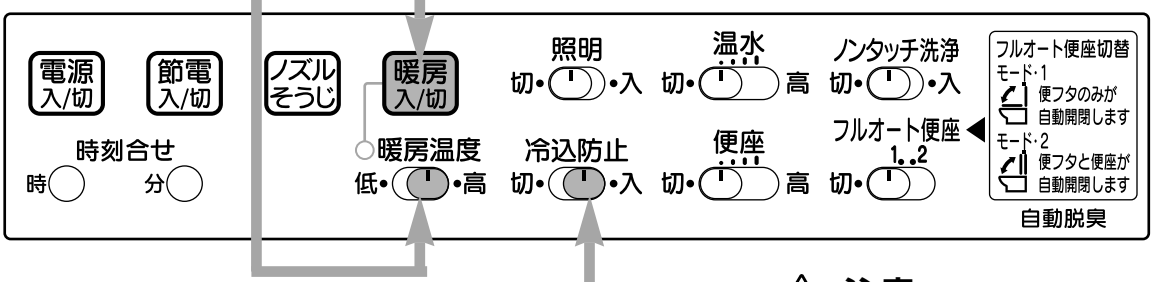
スイッチは「低」と「高」がありますので、お好みの温度にセットしてください。
「低」：約15℃、「高」：約20℃

※ ご使用の環境により、設定温度まで上がらない場合があります。

3 止めるとき、または使用しないときは、再び暖房入／切スイッチを押します。

※ 部屋暖房機能は、切忘れ防止のため24時間後に自動停止します。





■冷込防止

1 冷込防止スイッチを「入」にします。

室内が冷え込むと自動的に暖房を開始し、室温を約5℃に保ちます。

2 切るときは、冷込防止スイッチを「切」にします。

⚠ 注意

部屋暖房の温風吹出口は高温になります。触れないでください。
〈部屋暖房付の場合〉
※ ヤケドの原因となります。

〈壁リモコンの場合〉

■ほのかライト

※機種によっては、この機能がない場合があります。

1 照明入/切スイッチを押します。
（ほのかライト表示点灯、止スイッチ点滅）

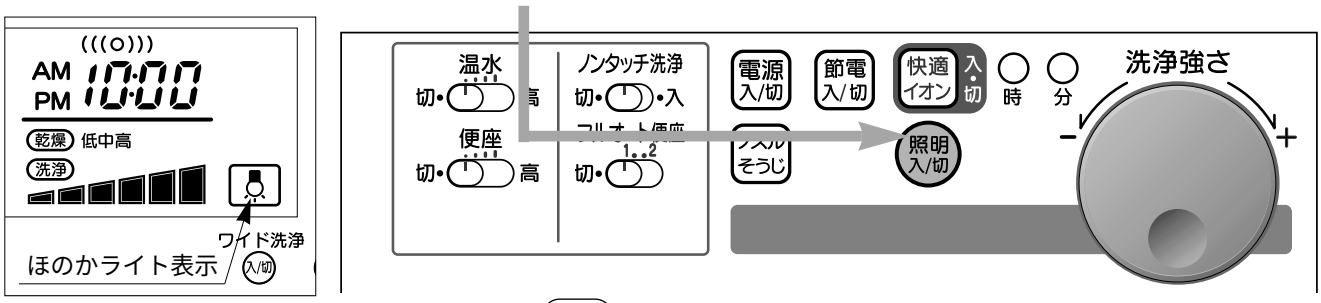
人を検知すると足下と便鉢内をほのかに照らします。

※ 人を検知しなくなると、自動的に消灯します。

2 切るときは、再び照明スイッチを押します。

注意

照明はあくまでも補助的なものです。使用するときは必ずトイレ内の電灯を点けてください。



参考

着座すると、便鉢内のライトのみ消灯するように切り替えることができます。（☞37ページ参照）

〈インテリアリモコンの場合〉

■ほのかライト

※機種によっては、この機能がない場合があります。

1 照明スイッチを「入」にします。
（止スイッチ点滅）

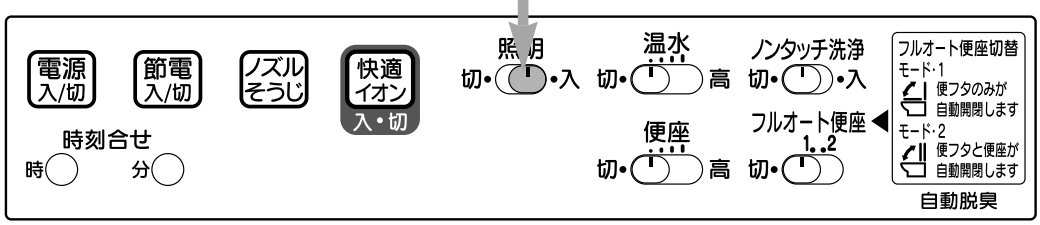
人を検知すると足下と便鉢内をほのかに照らします。

※ 人を検知しなくなると、自動的に消灯します。

2 切るときは、照明スイッチを「切」にします。

注意

照明はあくまでも補助的なものです。使用するときは必ずトイレ内の電灯を点けてください。



参考

着座すると、便鉢内のライトのみ消灯するように切り替えることができます。（☞37ページ参照）

■ちょっと便利な機能

便座ヒーターオートOFFについて

座ると自動的に便座ヒーターを切って、低温ヤケドをおこしにくくする機能が付いています。
下記の要領でセットしてください。

■セットおよび解除方法

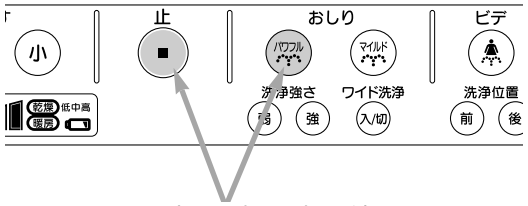
●止スイッチとパワフルスイッチを同時に2秒以上押し続けます。
（セット完了時、「ピッピッ」という音が鳴ります。）
●解除も同じ方法で行います。

※ 便座ヒーターは、立ち上がると自動的に復帰します。

壁リモコンの場合

同時に2秒以上押し続けます。

インテリアリモコンの場合



同時に2秒以上押し続けます。

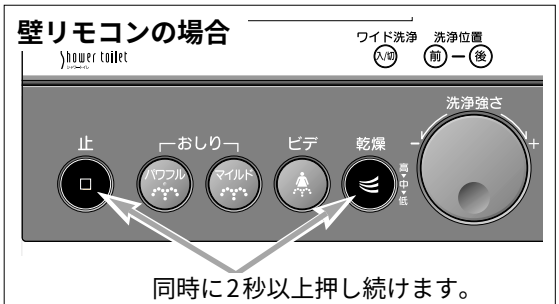
温風「低」始動について

温風温度を「低」から始まるようにすることができます。
お年寄り、身体の不自由な方、温度感覚のない方に便利です。下記の要領でセットしてください。

■セットおよび解除方法

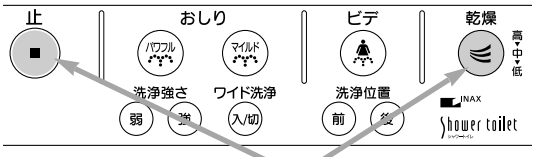
●止スイッチと乾燥スイッチを同時に2秒以上押し続けます。
（セット完了時、「ピッピッ」という音が鳴ります。）
●解除も同じ方法で行います。

壁リモコンの場合



同時に2秒以上押し続けます。

インテリアリモコンの場合



同時に2秒以上押し続けます。

ノンタッチ洗浄開始時間について

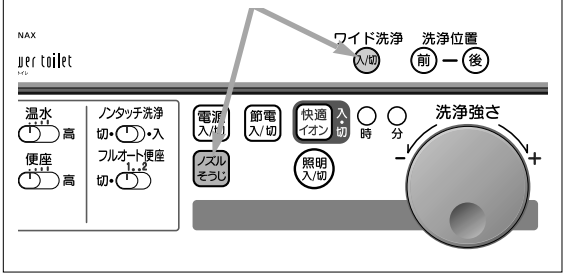
ノンタッチ洗浄は、便座から立ち上がってから約6秒後、自動的に便器洗浄を開始します。
この開始時間を、約15秒後に切り替えることができます。お好みに合わせて下記の要領で切り替えてください。

■洗浄開始時間の切替方法

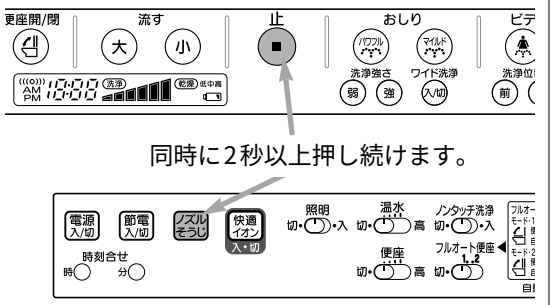
●ノズルそうじスイッチとワイド洗浄スイッチ（インテリアリモコンは止スイッチ）を同時に2秒以上押し続けます。
（セット完了時、「ピッピッ」という音が鳴ります。）
●元に戻すのも同じ方法で行います。

壁リモコンの場合

同時に2秒以上押し続けます。



インテリアリモコンの場合



ほのかライトの切替について

ほのかライトは、人を検知して足下と便鉢内を照らします。
足下、便鉢内照明のうち、着座すると便鉢内のライトのみ消灯するように切り替えることができます。

■ほのかライトの切替方法

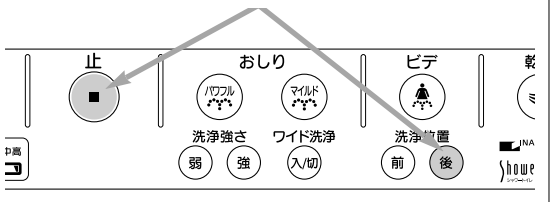
●止スイッチと洗浄位置の「後」スイッチを同時に2秒以上押し続けます。（セット完了時、「ピッピッ」という音が鳴ります。）
●元に戻すのも同じ方法で行います。

壁リモコンの場合

同時に2秒以上押し続けます。

インテリアリモコンの場合

同時に2秒以上押し続けます。



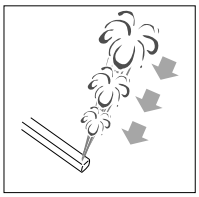
洗浄強さをさらに弱くしたい方のために

おしり洗浄・ビデ洗浄を「弱」にしてもまだ強いと思われる方は下記のように調節してください。

■セットおよび解除方法

〈壁リモコンの場合〉

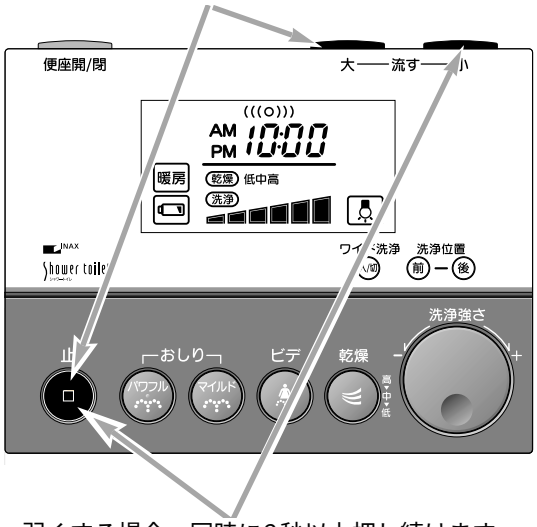
●止スイッチと流すスイッチの「小」を同時に2秒以上押し続けます。
「ピッピッ」という音がして洗浄強さが弱くなります。
弱くする設定はさらに4段階ありますのでお好みの強さに調節してください。
※ 水圧の低い所では、最弱の設定にするとノズルが出なくなる恐れがありますのでご注意ください。



押すたびに洗浄強さが1段階ずつ弱くなります。

●元に戻す場合は、止スイッチと流すスイッチの「大」を同時に2秒以上押し続けます。
「ピッピッ」という音がして、1段づつに戻ります。

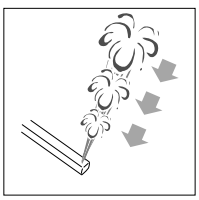
元に戻す場合、同時に2秒以上押し続けます。



弱くする場合、同時に2秒以上押し続けます。

〈インテリアリモコンの場合〉

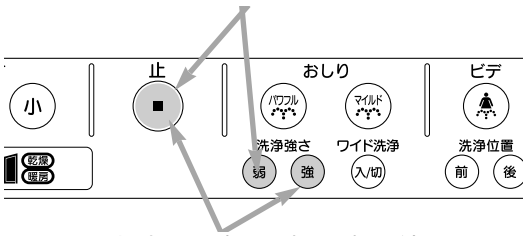
●止スイッチと洗浄強さスイッチの「弱」を同時に2秒以上押し続けます。
「ピッピッ」という音がして洗浄強さが弱くなります。
弱くする設定はさらに4段階ありますのでお好みの強さに調節してください。
※ 水圧の低い所では、最弱の設定にするとノズルが出なくなる恐れがありますのでご注意ください。



押すたびに洗浄強さが1段階ずつ弱くなります。

●元に戻す場合は、止スイッチと洗浄強さスイッチの「強」を同時に2秒以上押し続けます。
「ピッピッ」という音がして、1段づつに戻ります。

弱くする場合、同時に2秒以上押し続けます。



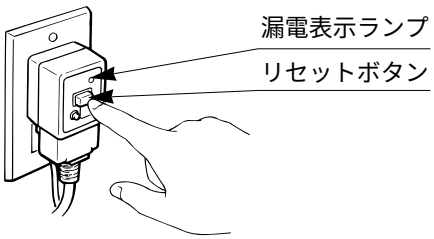
元の戻す場合、同時に2秒以上押し続けます。

《知っておいていただきたいこと》

漏電表示ランプが点灯したとき

本体内部で漏電が発生すると、事故防止のために各機能を停止させ、電源プラグの「漏電」表示ランプを点灯させます。

※ 漏電表示ランプが点灯したときは、電源プラグをコンセントから抜き、しばらく間をおいて、再び差し込み、リセットボタンを押してください。それでもランプが点灯するようであれば、電源プラグをコンセントから抜き、お求めの取扱店または(株)INAXメンテナンスへご連絡ください。



温かいシャワーの量と温度は？

●温水タンクの容量は、2.0 Lです。
おしりまたはビデ洗浄を長時間使用しますとシャワーの温度がしだいに低下します。続けて使用する場合は、3分間程度待ってから再度使用してください。

●シャワーの温度は、スイッチの位置に合わせて一定の温度に調節しています。
温水タンク内制御温度
低: 約36℃、中: 約38℃、高: 約40℃。
冬期には冷水（約5℃）から適温（約40℃）になるまでに約10分間かかります。

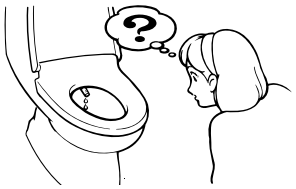
洗浄強さが最弱ではノズルが出ない、と思ったら。

このシャワートイレは、水道圧によってノズルを押し出し、シャワーを噴出する構造となっています。
水道圧が低いところでは、洗浄強さが最弱付近にあると、シャワーが出ないことがあります。
このようなときは、洗浄強さを「強」にしてください。（☞15、16ページ）

ノズルの付近から出る水は？

洗浄の前後や温水スイッチを入れたときなど、ノズル付近から水が出ますが、これは構造上必要なもので、故障ではありません。

※ 上記以外のときやいつまでも水が止まらない場合は、止水栓を閉め、電源プラグをコンセントから抜き、お求めの取扱店または(株)INAXメンテナンスへご連絡ください。



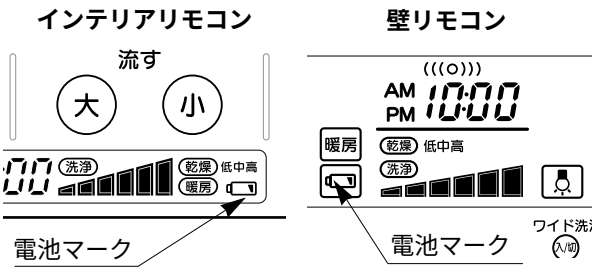
着座センサーが付いています。

人が座っていないときに誤ってスイッチを押してもシャワーが噴出しないよう、着座センサーが付いています。したがって便座に座らないとおしり洗浄、ビデ洗浄、脱臭、乾燥の各機能がはたらきません。
また、便座にシートカバー・便フタカバーを付ける場合、不適切なカバーによっては着座センサーが入りっ放しになったり、または入らなかったりして不具合が生じることがあります。

※ 便座に座っているときに停電し、そのままの状態で停電が直った場合、おしり洗浄等の操作ができない場合があります。こんなときはいったん便座から立ち上り、1～2秒経ってから再度座ってください。

リモコンについて

電池の寿命が近づくと、リモコンの電池マークが点滅します。
お早めに新しい電池に交換してください。（電池交換は☞52ページ）



省エネについて

省エネのためには、以下の項目が有効です。

- ●使用後は便フタを閉じておきましょう。
- ●便座カバーを取り付けると、省エネに有効です。
  ※ ただし、指定のカバーを使用し、こまめにカバーを洗濯して清潔さを保ってください。
- ●便座や温水の設定はむやみに高温にせず、快適さを損なわない程度に調節しましょう。
- ●春夏秋冬、気温に合わせてこまめに温度設定を行いましょう。
- ●節電機能のあるものはできるだけ利用しましょう。
- ●長時間の外出時など、不在時はこまめに電源を切っておきましょう。
  ※ 凍結破損の恐れがある場合は凍結防止方法を実施してください。(☞55、56、57ページ)

はじめの頃、温風が少し臭うかもしれません。

新しいうちは、温風が少し臭うことがありますが、ご使用とともに消えますので、ご心配はありません。

ラジオやテレビに雑音が入ったら。

シャワートイレにラジオやテレビを近づけると、雑音が入ることがあります。
このような場合は、雑音が入らない位置までラジオやテレビを離して使用してください。

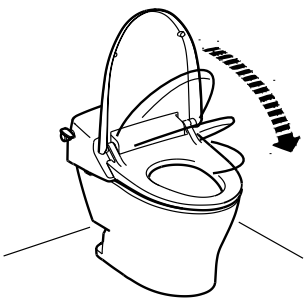
フルオート便座について〈電動開閉付の場合〉

人が便器の前に立ったことを検知して、便フタを自動的に開閉するための人体検知センサーが付いています。
便器のすぐ前に立つと検知しますが、便器の斜め前や離れて立つと検知できずに便フタが開かないことがあります。

ゆっくり閉じる便座・便フタ。

便座・便フタには、あやまって倒したときなどの衝撃をやわらげるため、ゆっくりと閉じるようにスローダウン機構が装備されています。

※ 強引に閉じると故障の原因になることがありますのでご注意ください。



結露について

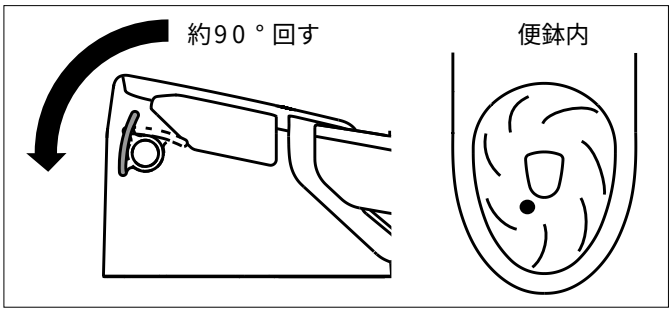
室温と便器・本体の表面温度差や湿度により、便器・本体の表面に水滴が生じることがあります(結露)。結露を防ぐためには、換気を十分にしてください。なお結露水が生じた場合は、乾いた布でふき取ってください。

※ 結露水は床のしみや破損の原因になります。
※ 本便器は結露しにくい構造になっていますが、室温等の条件により結露する場合があります。

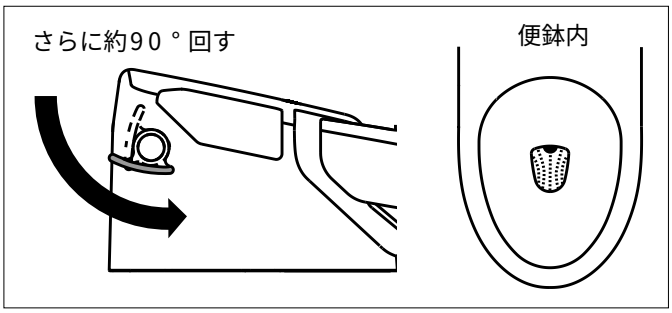
停電したときの便器洗浄のしかた

停電したときには、リモコンで便器内洗浄が行えません。
以下の要領で洗浄してください。

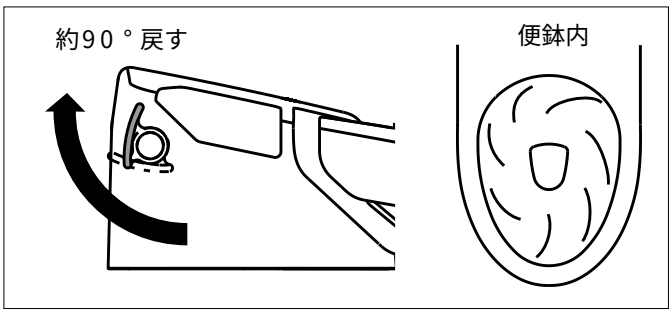
1. 洗浄ハンドルを奥に約90°回します。
   便鉢周りから水が流れて、汚物を便鉢底へ洗い落とします。



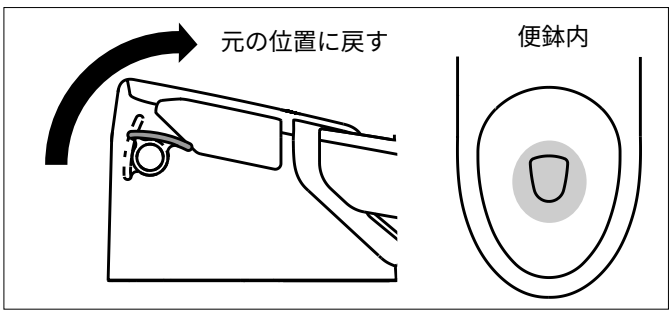
2. 汚物が底に落ちたら、さらに約90°回します。
   便鉢底から水が流れて、汚物を排出します。



3. 洗浄ハンドルを約90°戻します。
   便鉢周りから水が流れて、便鉢底に水が溜まります。



4. 便鉢底に水が溜まったら、元の位置に戻します。
   水が止まります。
   ※ 洗浄後は必ずハンドルを元の位置に戻してください。（水が流れっぱなしになります）

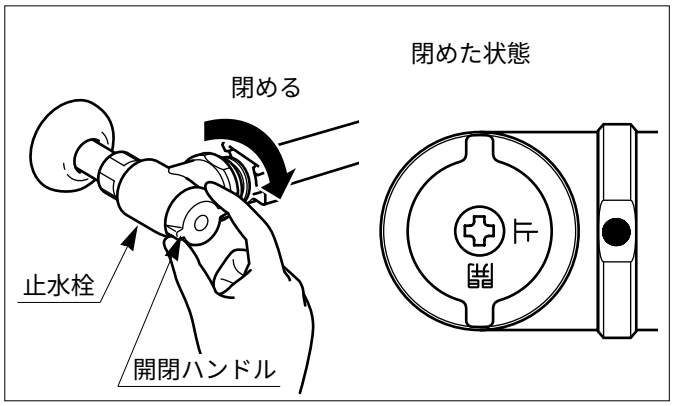


参考
バケツに水を入れ、直接便鉢に水を流しても、汚物を流すことができます。

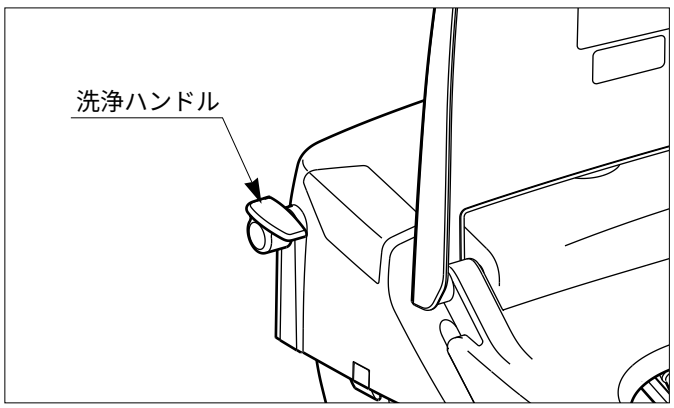
洗浄水が流れっ放しになったら

便器洗浄中に停電したり、電源を切ると、洗浄水が流れっ放しになります。
以下の要領で洗浄水を止め、電源が入ったら元に戻してください。

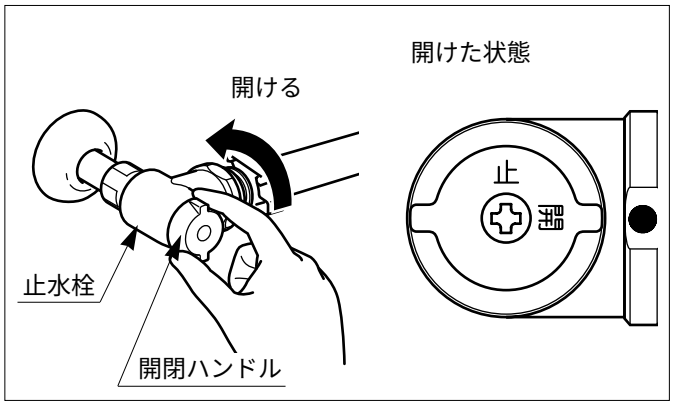
1. 止水栓の開閉ハンドルを右に90°回します。
   洗浄水が止まります。



2. 電源が入ったら洗浄ハンドルが元の位置（水平）に戻るのを確認します。



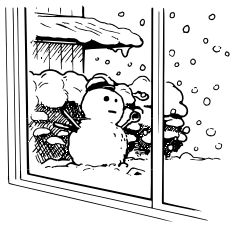
3. 止水栓の開閉ハンドルを左に90°回します。
   リモコンの流す「大」または「小」スイッチを押して洗浄水が流れることを確認してください。



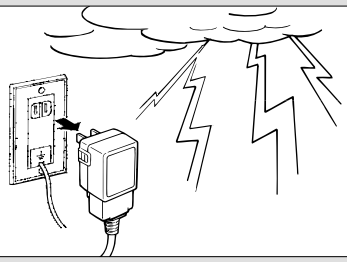
お取り扱い上の注意

■故障を起こさないために守ってください。

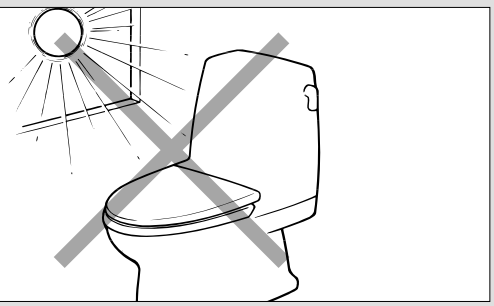
凍結の恐れがあるような夜間は、凍結による破損を防止するために凍結防止方法を実施してください。(☞55、56、57ページ)



雷が近くで発生しているときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
※**事故や故障**につながる場合があります。

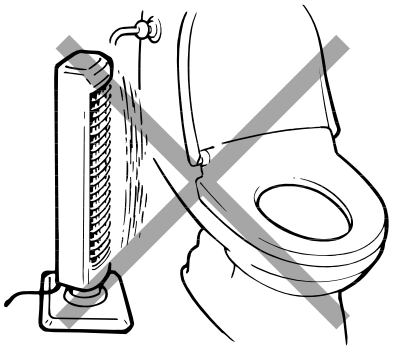


直射日光が当たらないようにしてください。
※樹脂部が変色することがあります。



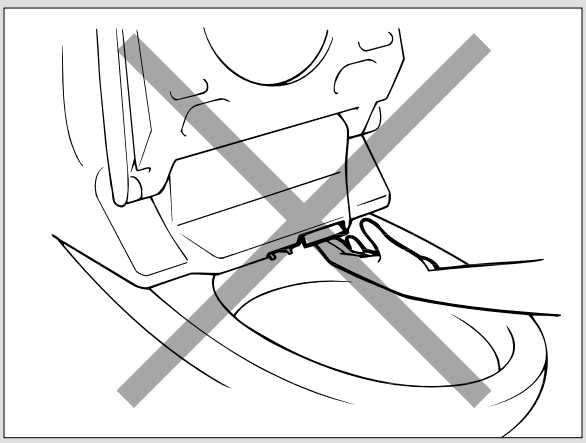
便フタにもたれないでください。
※**破損の原因**になります。

シャワートイレ本体にストーブやヒーターなどを近付けすぎないでください。
※**変色や故障の原因**になります。

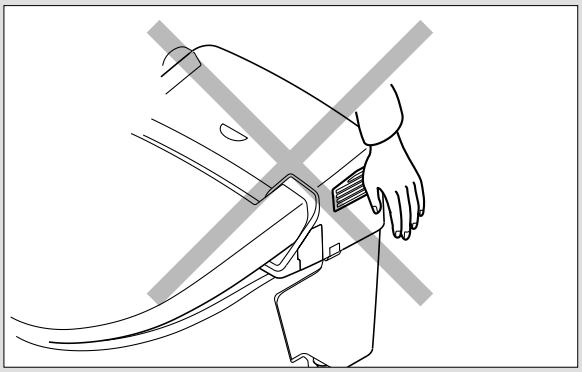


便フタおよび便座の開閉は乱暴に行わないでください。
※割れたり**漏電など故障の原因**となることがあります。

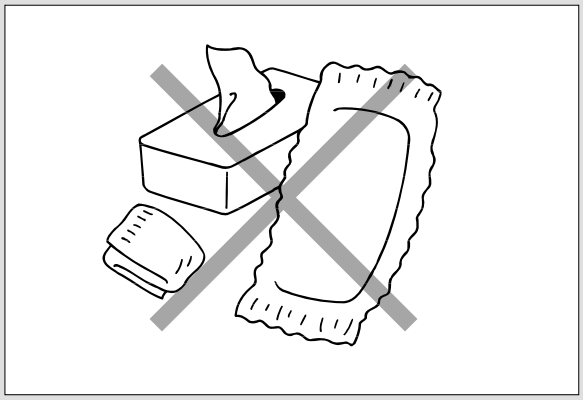
絶対に温風吹出口をふさがないでください。
※**故障の原因**になることがあります。



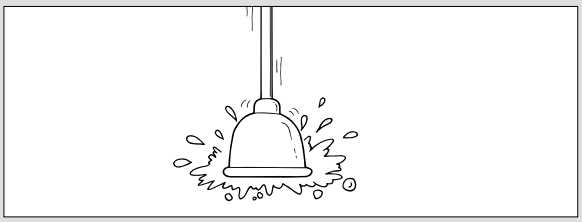
絶対に部屋暖房の吹出口〈部屋暖房付の場合〉またはイオン吹出口〈プラズマクラスター付の場合〉をふさがないでください。
※**故障の原因**となることがあります。



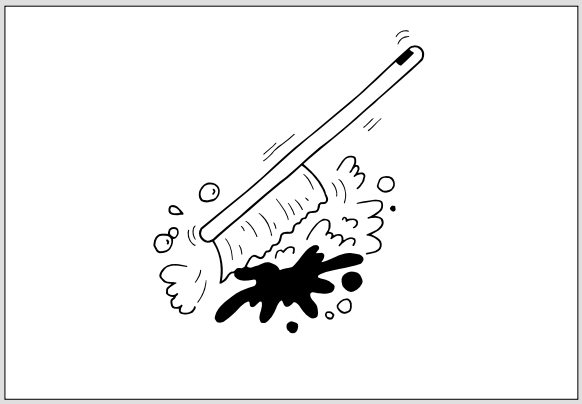
新聞紙、紙おむつ、ティッシュペーパー、生理用ナプキンなど詰まりやすいものは流さないでください。



万一詰まった場合には、市販の吸引器（商品名：ラバーカップ）を使って取り除いてください。詰まったまま水を流さないでください。（リモコンの「大」または「小」スイッチを押したり、洗浄ハンドルを回したり、便座に手等を触れないでください。）
※便器から汚水があふれて、床を汚すことがあります。

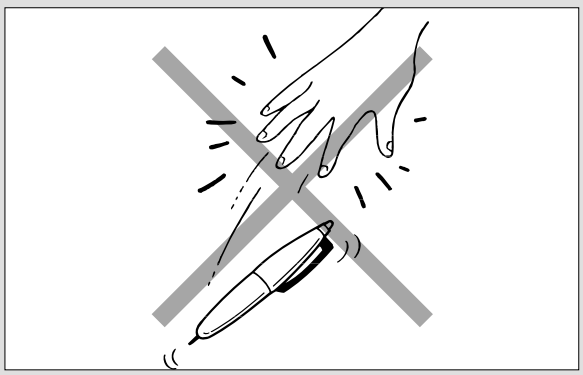


便器に汚物が付着して、便器洗浄しても容易に落ちないときは、ブラシで掃除してください。



便器に熱湯をそそがないでください。また、衝撃を与えないでください。
※**破損や漏水の原因**になります。

鉛筆、ボールペン、くし、歯ブラシなどは配管内に詰まりますので、誤って便器に落としたときには、水を流す前に必ず拾いだしてください。



お手入れ方法

《日頃のお手入れ》

注意

お手入れをするときは、必ず電源スイッチを押して、本体表示部の電源ランプが消灯していることを確認してください。

便座や便フタ・カバー類（プラスチック部）のお手入れのしかた

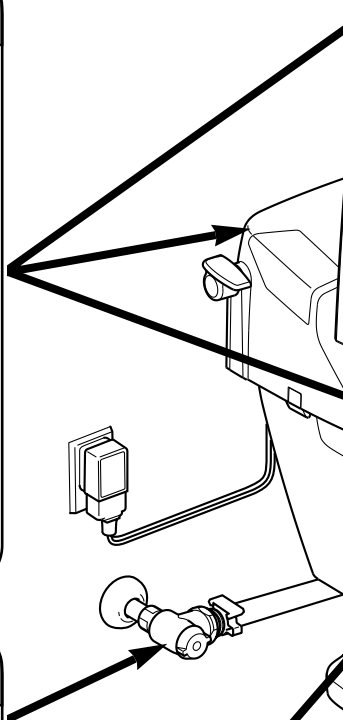
●柔らかい布で水ぶきをしてください。

汚れは放っておくと落ちにくくなりますので、こまめに水ぶきをしましょう。
また、水ぶきは静電気を防ぎます。静電気はホコリを引き寄せ、黒く汚れる原因になります。

●お手入れにはINAX純正のトイレ用おそうじティッシュまたはシャワートイレお掃除クリーナー（別売品）をおすすめします。

市販の便座用おそうじティッシュが使用できますが、中には適さない製品があります。ご不明な点は洗剤メーカーに確認してから使用してください。
別売品の購入方法については62ページをご覧ください。

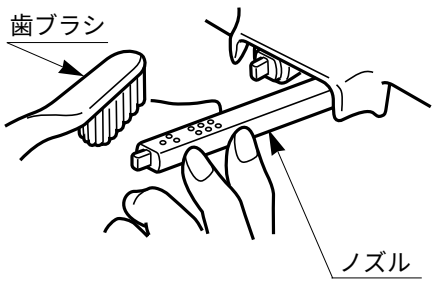
※ このシャワートイレは、便フタが簡単に外せます。（☞47ページ参照）また、本体浮上機能付の場合は本体を浮かせることができるので、便器と本体の間も楽に掃除ができます。（☞49ページ参照）



止水栓など（メッキ部）のお手入れのしかた

止水栓などのメッキ金具は、ミシン油やカーワックスなどをしみこませた布でふくと、美しい輝きを保てます。

ノズルのお手入れのしかた

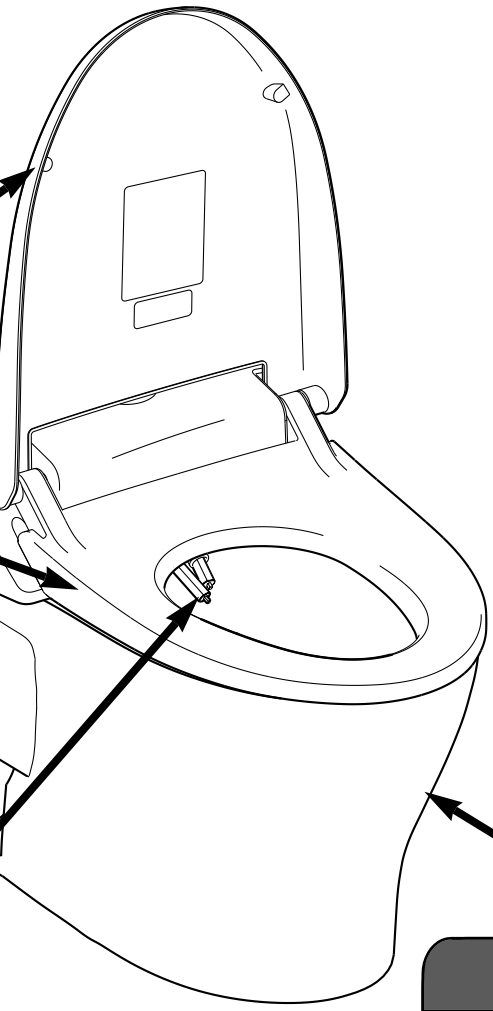


ノズルを引き出し、歯ブラシ等で掃除してください。

※ ノズルを無理に引張ったり、曲げたりしないでください。

⚠ 警告

電源プラグに付着したほこりは定期的にふき取ってください。その際は電源プラグを抜き、乾いた布でふき取ってください。
※絶縁不良により火災の原因になります。



⚠ 警告

本体内に水や洗剤を入れないでください。本体や電源プラグ部に水をかけないでください。

※ 感電・火災の恐れがあります。

⚠ 注意

プラスチック部のお手入れには、便座に使用できる洗剤以外(トイレ用洗剤、住宅用洗剤、漂白剤、ベンジン、シンナー、クレンザー、クレゾール)は使用しないでください。

※ プラスチック部が割れてケガや感電・火災の原因となります。

便器（陶器部）のお手入れのしかた

樹脂製のブラシやスポンジに中性洗剤を染み込ませ、水またはぬるま湯で洗ってください。

便器のお手入れにはINAX純正のおそうじブラシ（別売品）をおすすめします。別売品の購入方法については62ページをご覧ください。

熱湯等はお使いにならないでください。便器が破損することがあります。

（便器部に関しては、同梱の“ プロガードお手入れ読本 ”をお読みください。）

抗菌部位について

ノズル・便座・便フタ・本体カバー・下カバー・洗浄ハンドルに抗菌樹脂を、リモコンのスイッチパネルには抗菌シートを、便器には抗菌便器を採用しています。

KILAMIC抗菌商品について

- KILAMIC抗菌商品は、商品表面の細菌の繁殖を抑える効果を持ちますが、ホコリ・油膜等が表面を覆った場合には、十分な抗菌効果を発揮できないことがあります。
- KILAMIC抗菌商品は、商品表面の細菌の繁殖を抑える効果を持ちますが、細菌が全くなくなるわけではありません。従って感染等が防げるわけではありません。
- 抗菌製品技術協議会の抗菌製品規格SIAA*に適合した製品です。

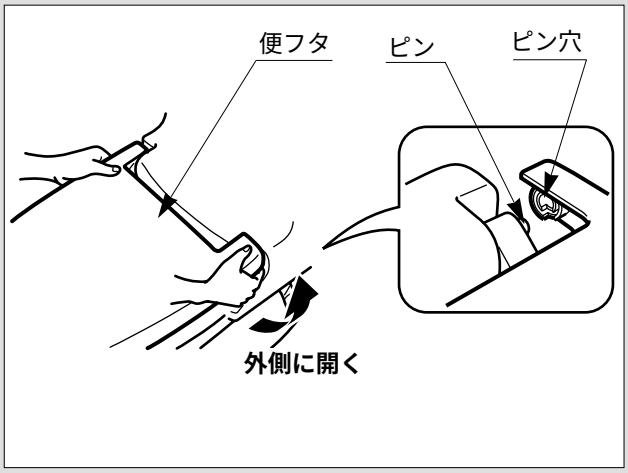
＊：SIAAマークは、抗菌製品技術協議会の「安全性と抗菌性能などのガイドライン」に沿って品質管理された製品に表示されるマークであり、情報公開されています。

《便フタを外して掃除します》

※電源スイッチを「切」にしてください。

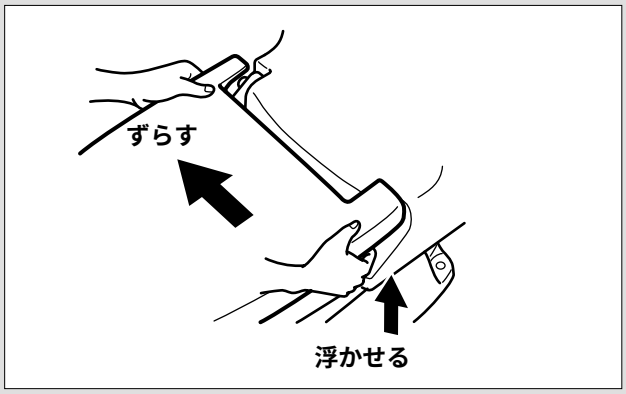
便フタの外しかた

1. 便フタ右側のピン穴を外側に開いて、ピンから外します。



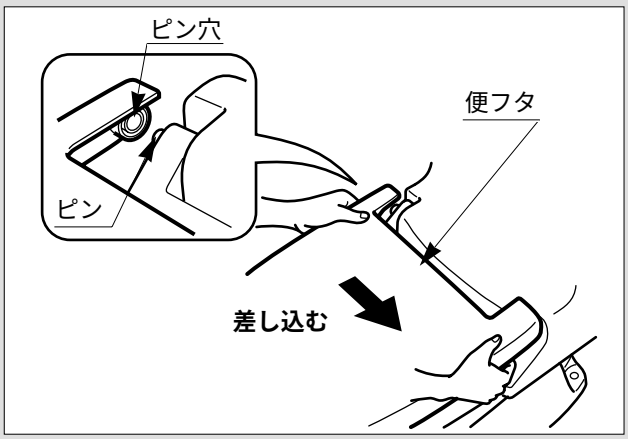
2. 便フタを浮かせながら左側にずらし、便フタを外します。

注意 **強引に外そうとすると割れるなど破損の原因となります。**

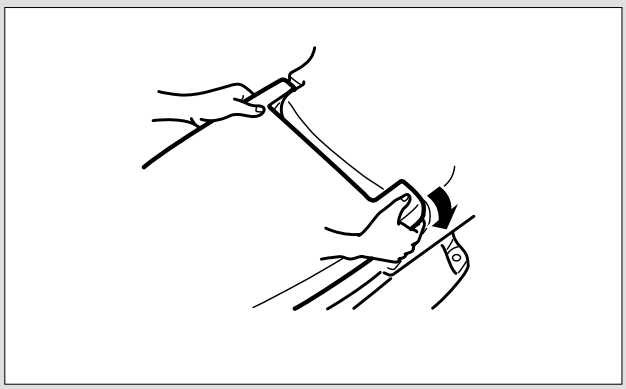


便フタの組み付けかた

1. 便フタ左側のピン穴と本体左側のピンを合わせて差し込みます。



2. 便フタ右側のピン穴を外側に開き、ピン穴とピンを合わせて、便フタを取り付けます。



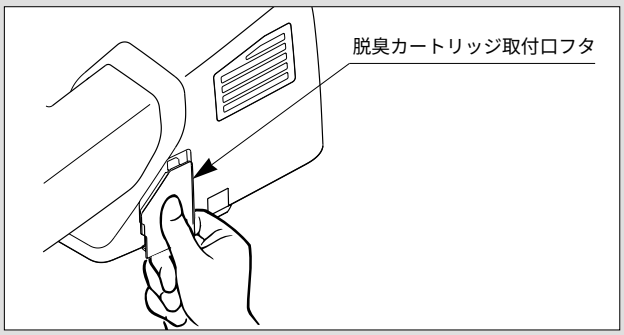
お手入れのあとは、電源スイッチを押して表示部の電源ランプが点灯することを確認してください。

《脱臭効果が弱くなった場合》

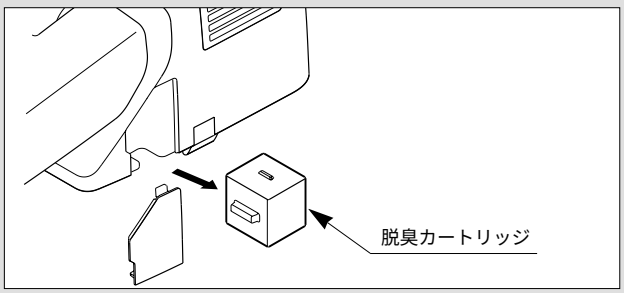
脱臭カートリッジにホコリ等が付着すると十分な脱臭ができなくなります。ニオイが気になりだしたら、清掃してください。

脱臭カートリッジのお手入れ方法

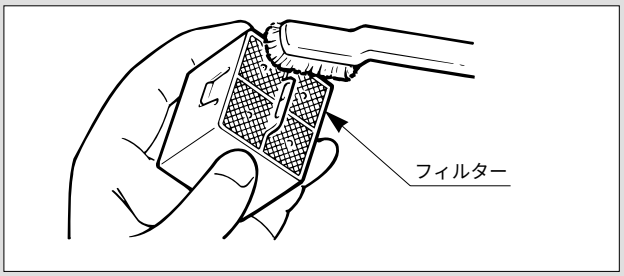
1.脱臭カートリッジ取付口のフタを外します。



2.脱臭カートリッジを引き抜きます。



3.フィルターのホコリ等を歯ブラシなどで取り除きます。



注意 **脱臭カートリッジ本体は水洗いできませんのでご注意ください。**

4.脱臭カートリッジを取付口に差し込み、フタを取り付けます。

■脱臭カートリッジのお取り替えについて

清掃してもまだニオイが気になる場合、脱臭カートリッジの寿命ですので、新品と交換してください。
脱臭カートリッジの寿命は、通常使用で約7年です。

※ 脱臭カートリッジの寿命は、4人家族（男性2人、女性2人）の平均使用時間を基本としています。

まずシャワートイレ使用開始日を右の日付記入欄に記入し、脱臭カートリッジ交換の目安としてください。
次回脱臭カートリッジを交換する場合は、脱臭カートリッジにある日付ラベルに使用開始日を記入してください。

シャワートイレ使用開始日をご記入ください。

年　　月　　日

※ お取替用の脱臭カートリッジのお求めは、62ページ“ 別売品の購入方法 ”をご覧ください。

⚠ 注意

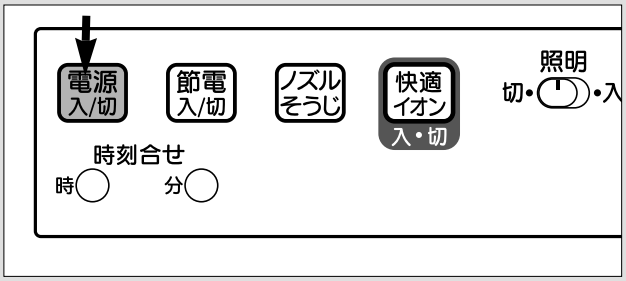
脱臭カートリッジ取付口の奥に脱臭ファンがありますので、指や脱臭カートリッジ以外の物を入れないでください。

※ 指をケガしたり故障の原因になります。

《本体と便器の間を掃除します》

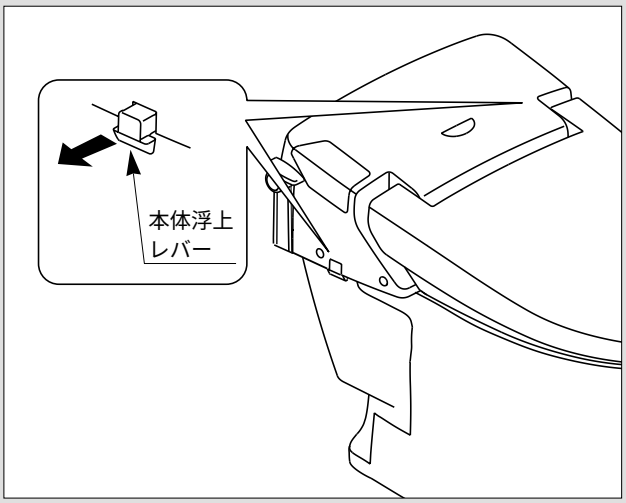
1．本体の浮かせかた

1．電源スイッチを「切」にします。



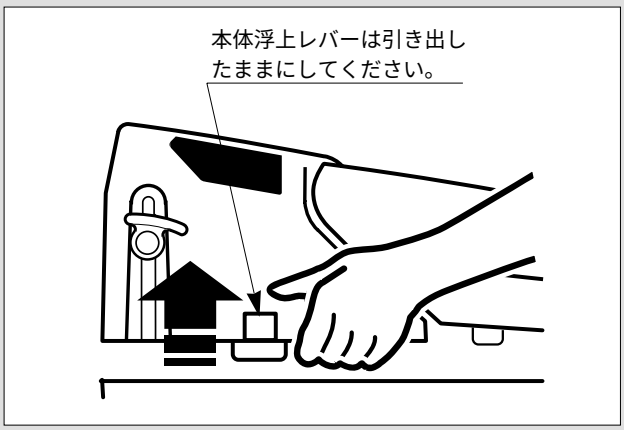
注意 **本体を浮かせたまま使用しないでください。**
※故障の原因となります。

2．本体両側の本体浮上レバーを引き出します。



3．本体浮上レバーより前方を持ち、静かに持ち上げます。

※ 本体がロックされて、浮いた状態になります。
※ 本体は約50mm持ち上がります。



注意
- **無理に持ち上げないでください。**
  ※ 故障の原因となります。
- **本体浮上レバーは引き出したままにしてください。**
  ※ 本体が持ち上がったまま、本体浮上レバーを戻すと降りなくなります。
- **操作はゆっくり行ってください。**

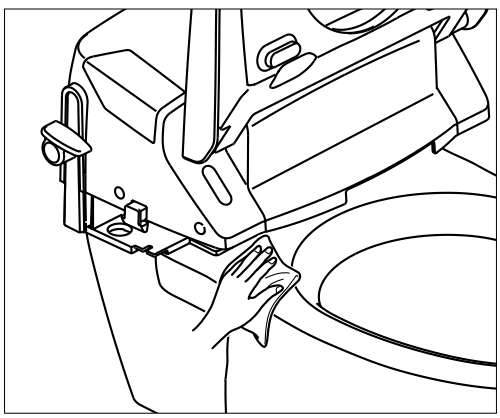
■掃除のしかた

本体の掃除は、柔らかい布で水ぶきしてください。
(☞45ページ参照)

※ 便器の掃除は、《日頃のお手入れ》に従ってください。
(☞46ページ参照)

注意

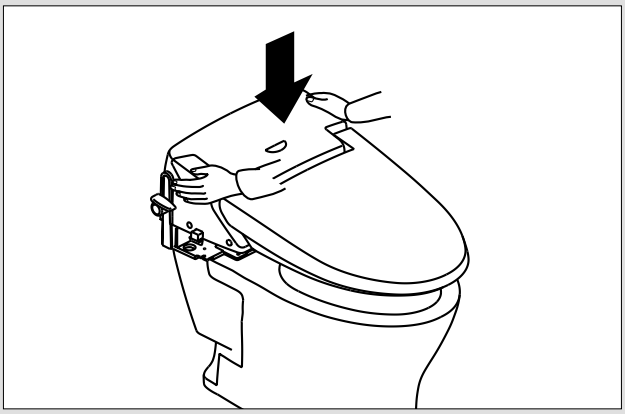
- **便器を掃除しているとき、洗剤が本体にかからないように注意してください。また、便器に洗剤が残らないように水拭きしてから本体を戻してください。**
  ※洗剤が本体に付着すると故障の原因になります。
- **本体を上から抑えると降りてくる可能性があるので注意してください。**



2.本体の戻しかた

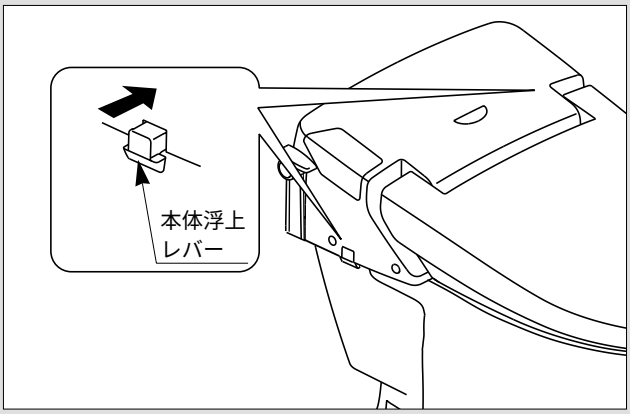
1. 本体を上から“カチッ”と音がするまで軽く押さえます。

※本体が元の位置に戻ります。

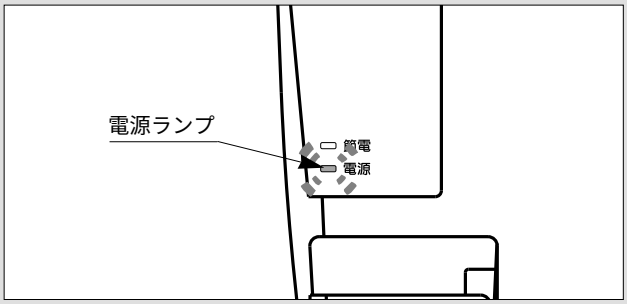


注意 **無理に押さないでください。**
※故障の原因になります。

2. 本体浮上レバーを元の位置まで押し込みます。



4. 電源スイッチを「入」にします。



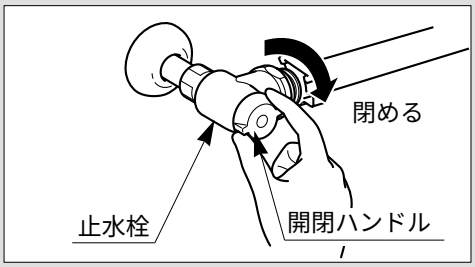
5. 全て終わったら、必ず試運転を行ってください。(☞11、12ページ)

《便器洗浄が弱くなってきたなと思ったら》
《シャワーが弱くなってきたなと思ったら》

長期間使用して便器洗浄が弱くなりはじめたり、シャワーの勢いが弱くなりはじめたら、以下の手順でストレーナーの掃除を行ってください。（目安としては2年に1回程度です。）

ストレーナーの掃除方法

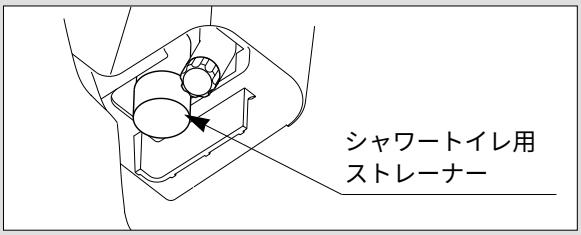
1．止水栓の開閉ハンドルを閉めて、給水を止めます。



■シャワーが弱くなってきた場合

2．本体右下のストレーナーを回して外します。

※ このとき少量の水がこぼれますので、洗面器等を下に置いてください。



3．ストレーナーに付いているゴミを水洗いして取り除きます。

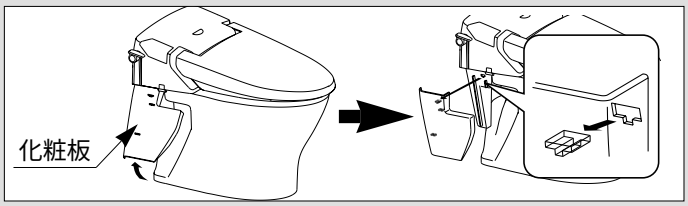
4．ストレーナーを確実に取り付けます。

5．止水栓を全開にします。

■便器洗浄が弱くなってきた場合

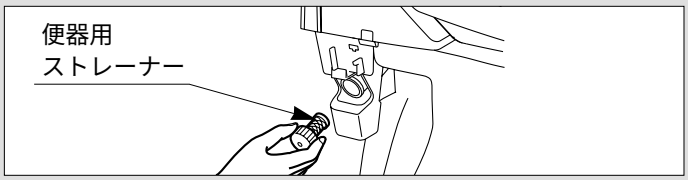
2．流すスイッチ「大」を押します。

3．本体左側の化粧板をゆっくり外します。



4．便器用ストレーナーを回して外します。

※ このとき少量の水がこぼれますので、洗面器等を下に置いてください。



5．ストレーナーに付いているゴミを水洗いして取り除きます。

6．ストレーナーを確実に取り付け、化粧板をはめ込みます。

7．止水栓を全開にして、便器内洗浄を行います。

6．最後に必ず試運転を行ってください。（☞11、12ページ）

⚠ 注意

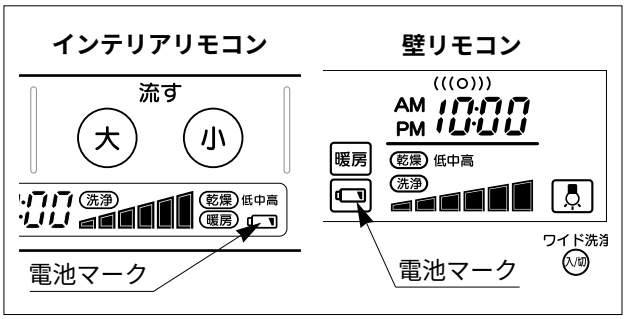
ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉めてください。また、ストレーナーを取り付ける際は、すき間がないようにしっかり締めてください。
※漏水の原因になります。

《リモコンの電池交換》

電池の寿命が近づくと、電池マークが点滅します。

※ 通常は消灯しています。
※ 付属の電池は施工時の動作チェック用のため、寿命が短い場合があります。
※ リモコンが受光部と反対側の壁に設置してある場合、電池マークが点滅する前に使用できなくなる場合があります。

下記の要領で新しい電池に取り替えてください。

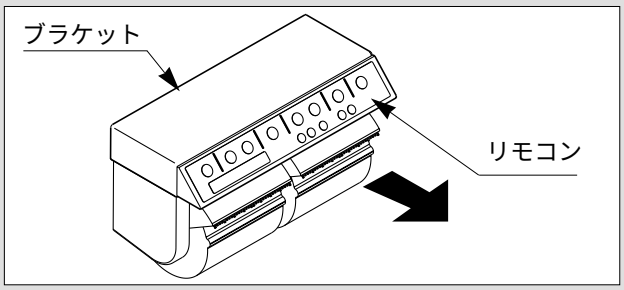


注意

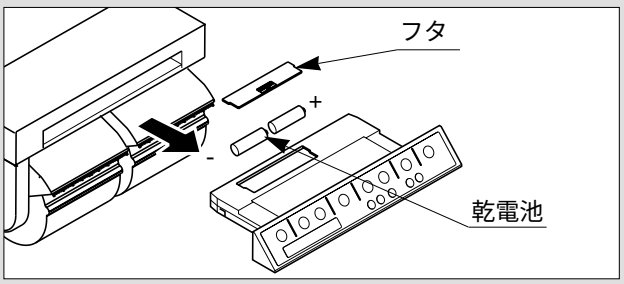
- **電池のプラスとマイナスの向きをリモコンの表示通り正しく入れてください。**
- **新しい電池と古い電池を混ぜて使わないでください。**
- **アルカリ電池を使用してください。**

リモコン電池の取替方法〈インテリアリモコンの場合〉

1. リモコンを手前に引き出し、ブラケットから外します。



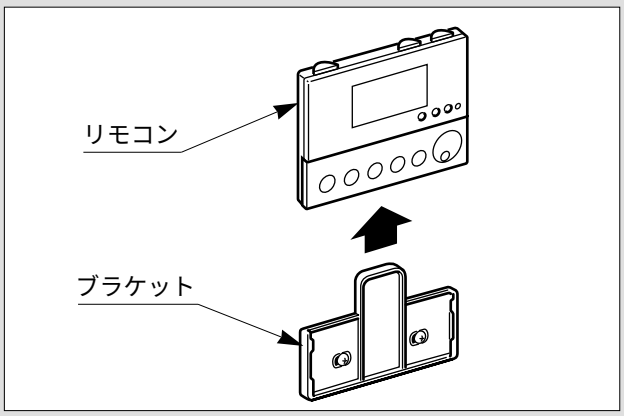
2. フタを外し、新しい乾電池（1.5Vアルカリ単三、2本）に取り替えます。



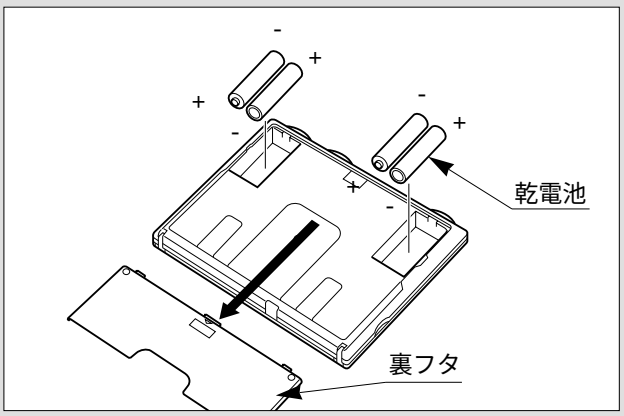
3. フタを元通りにはめ、時刻合わせ「時」「分」スイッチを押して時刻を合わせます。
4. リモコンをブラケットに納めます。

リモコン電池の取替方法〈壁リモコンの場合〉

1. リモコンを上に持ち上げて、ブラケットから外します。



2. 裏フタを外し、新しい乾電池（1.5Vアルカリ単三、4本）に取り替えます。



3. 裏フタを元通りにはめ、リモコンをブラケットに上から差し込みます。
4. 時刻合わせ「時」「分」スイッチを押して時刻を合わせます。

《電源プラグ（漏電保護機能付）の点検》

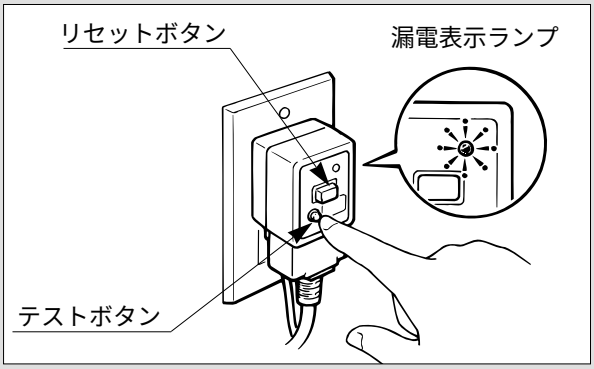
電源プラグの故障は、思わぬ事故につながることがあります。必ず点検を行ってください。
（目安としては月に1～2回程度です。）

電 源 プ ラ グ の 点 検 方 法

1. 電源プラグのテストボタンを押して、漏電表示ランプが点灯することを確認してください。

2. リセットボタンを押して漏電表示ランプが消灯することを確認してください。

※ この点検を行うと、節電切タイマーおよび部屋暖房〈部屋暖房付の場合〉の設定が解除されます。再度セットし直してください。

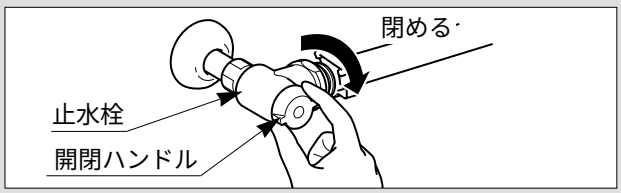


長期間使用しない場合

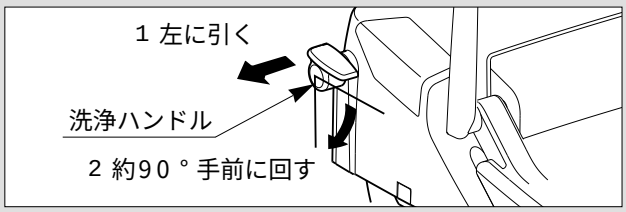
以下の場合は水抜きを必ず行ってください。
●旅行などで長い間、シャワートイレを使用しないとき。（水が汚れて詰まりの原因になります。）
●別荘などで使用しないとき。（人のいない家では予想以上に温度が下がり、凍結する恐れがあります。）

水抜きおよび電源の取外し

1．止水栓の開閉ハンドルを閉めて、給水を止めます。



2．洗浄ハンドルを左側に引いて手前に回します。

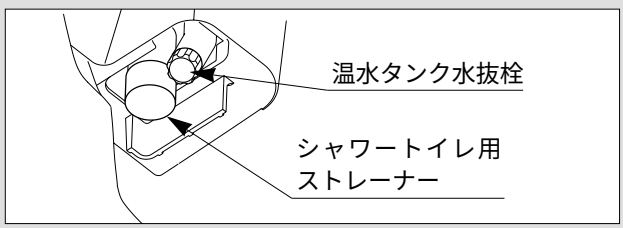


注意

- **洗浄ハンドルを左に引いたまま、奥に回さないでください。**
- **洗浄ハンドルを戻すときには、約90℃奥に回してください。**

3．左側の化粧板を外し、便器用ストレーナーを開けて、洗浄バルブ内の水を抜きます。（☞51ページ）

4．本体右下のストレーナーと温水タンク水抜栓の下に洗面器を置き、ストレーナーと温水タンク水抜栓を外して、温水タンクから水を抜きます。



5．温水タンク水抜栓と各ストレーナーをしっかり締め付け、電源プラグをコンセントから抜きます。

注意

特に凍結の恐れがある場合：

- 便器鉢内の溜水をくみ出し、不凍液を入れてください。
  ※ 溜水をくみ出しただけでは、排水管から臭気が上がってきます。
- 給水管内から水を抜く必要があります。水抜式便器お使いの方は、上記の手順に加えて室内の水抜栓を操作して、給水管から水を抜いてください。（☞56ページ）

6．再び使用するときは、必ず試運転を行ってください。（☞11、12ページ）

■もし凍結してシャワーが出なくなったら

万一、給水ホースや給水接続部が凍結し、シャワーが噴出しない場合は、温かいお湯に浸した布等で、給水ホースや給水接続部を温めてゆっくり解凍するか、または室内を暖めて自然解凍を待ってください。

注意

給水ホースに熱湯や熱風をかけないでください。
※給水ホースが破損する恐れがあります。

⚠ 注意

ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉めてください。また、ストレーナーを取り付ける際は、すき間がないようにしっかり締めてください。
※漏水の原因になります。

冬期凍結の恐れがある場合

冬期、冷え込みが厳しいと、シャワートイレ内の水が凍って破損することがあります。凍結破損を防止するために以下の作業を行ってください。

電源プラグは抜かずに必ずコンセントに差し込み、電源を入れておいてください。

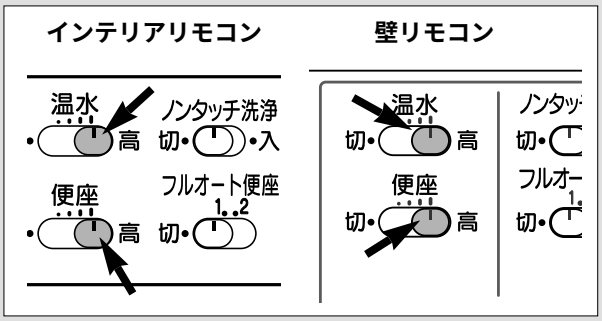
一 般 的 な 凍 結 防 止 方 法

1．温水スイッチを「高」、便座スイッチを「高」にして便フタを閉じます。

節電を行っている場合は、節電を解除します。

2．室内を暖房します。

部屋暖房付の場合は、冷込防止スイッチを「入」にします。



※もし室内が暖房できない場合は、以下の手順で本体内から水を抜いてください。

3．本体内から水を抜きます。
（室内が暖房できない場合）

（1）止水栓の開閉ハンドルを閉めて、給水を止めます。

（2）洗浄ハンドルを左側に引いて手前に回します。

（3）洗浄水が出なくなったら、洗浄ハンドルを元の位置まで戻します。

注意

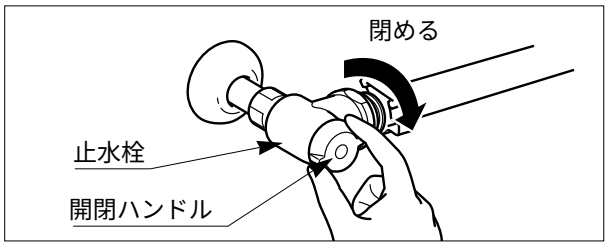
- **洗浄ハンドルを左に引いたまま、奥に回さないでください。**
- **洗浄ハンドルを戻すときには、約90°C奥に回してください。**

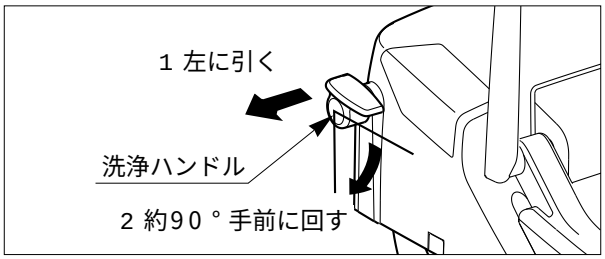
（4）左側の化粧板を外し、便器用ストレーナーを開けて、洗浄バルブ内の水を抜きます。（☞51ページ）

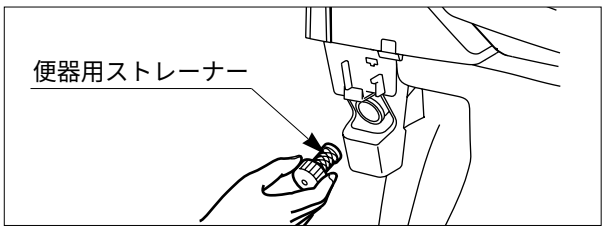
（5）本体右下のストレーナーの下に洗面器を置き、ストレーナーを外して、本体内から水を抜きます。

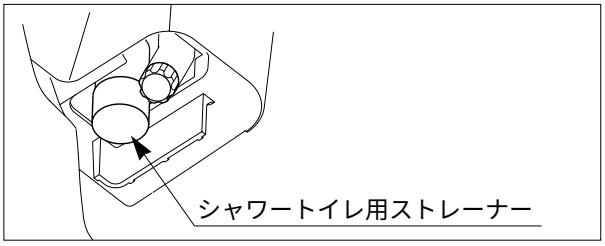
（6）ストレーナーを確実に閉めます。

4．再び使用するときは、必ず試運転を行ってください。（☞11、12ページ）









⚠ 注意

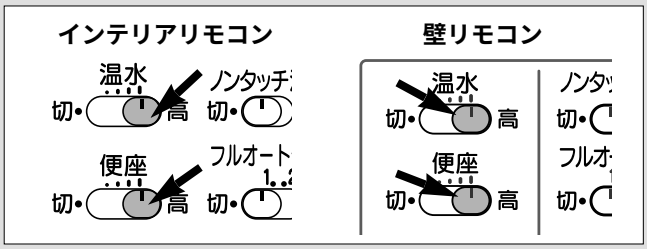
ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉めてください。また、ストレーナーを取り付ける際は、すき間がないようにしっかり締めてください。

※漏水の原因になります。

流動式便器を使用している場合の凍結防止方法

1.温水スイッチを「高」、便座スイッチを「高」にして便フタを閉じます。

節電を行っている場合は、節電を解除します。

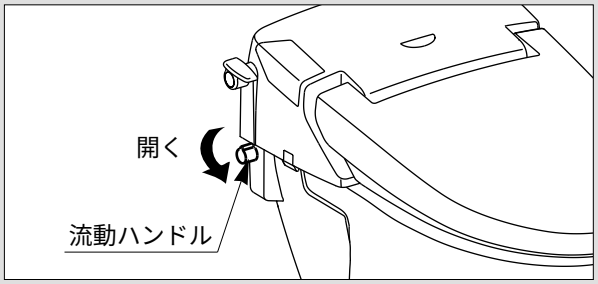


2.室内を暖房します。

部屋暖房付の場合は、冷込防止スイッチを「入」にします。

3.流動ハンドルを回します。

水が絶えず便器内に流れるようにします。



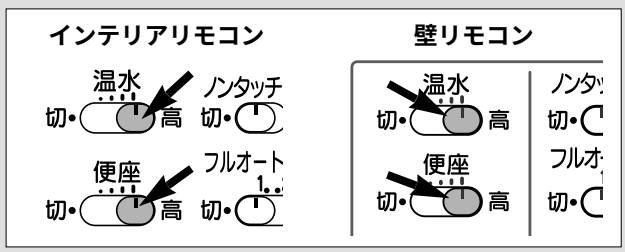
参考

流動回すと1時間に約100Lの水量が出ます。このとき約-10℃まで凍結を防止します。

水抜栓による凍結防止方法

1. 温水スイッチを「高」、便座スイッチを「高」にして便フタを閉じます。

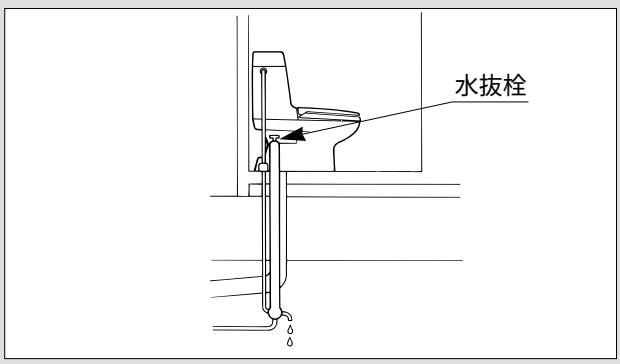
節電を行っている場合は、節電を解除します。



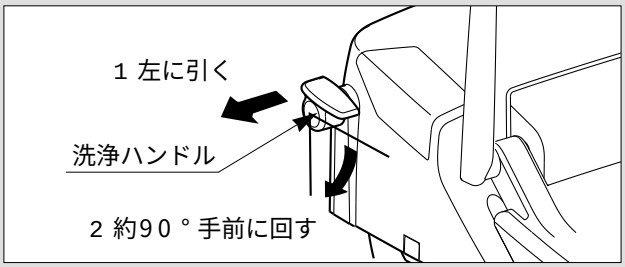
2.室内を暖房します。

部屋暖房付の場合は、冷込防止スイッチを「入」にします。

3. 水抜栓を操作して、配管内の水を抜きます。



4. 洗浄ハンドルを左側に引いて手前に回します。



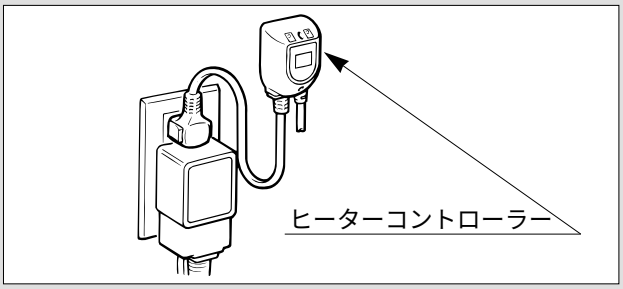
注意

- **洗浄ハンドルを左に引いたまま、奥に回さないでください。**
- **洗浄ハンドルを戻すときには、約90℃奥に回してください。**

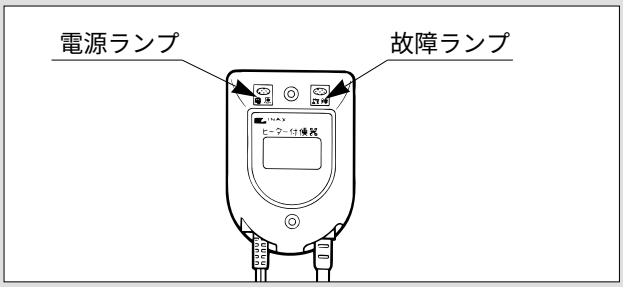
5. 再び使用するときは、必ず試運転を行ってください。(☞11、12ページ)

ヒーター付便器の凍結防止方法

1．ヒーターコントローラーの電源プラグをコンセントに差し込みます。



2．電源ランプが点灯、故障ランプが消灯していることを確認してください。



■ もし凍結してシャワーが出なくなったら

万一、給水ホースや給水接続部が凍結し、シャワーが噴出しない場合は、温かいお湯に浸した布等で、給水ホースや給水接続部を温めてゆっくり解凍するか、または室内を暖めて自然解凍を待ってください。

注意

給水ホースに熱湯や熱風をかけないでください。

※給水ホースが破損する恐れがあります。

修理を依頼される前に

《故障かなと思ったら》

簡単に故障が直る場合がありますので、修理を依頼される前に下記項目をご確認ください。

現　象	原　因	処　置
便器下部に水滴が付いている。	湿度が高く結露した。	こまめにふき取ってください。
シャワーが出ない。 （ノズルが出ない。）	電源コンセントに電気がきていない。	停電、ブレーカーなどを確認します。
	電源スイッチが「切」になっている。	電源スイッチを押して、本体の表示部の電源ランプを点灯させます。
	電源プラグがコンセントに差し込まれていない。	電源プラグを完全に差し込みます。
	漏電している。 （漏電表示ランプが点灯している。）	電源プラグのリセットボタンを押します。それでもランプが点灯するようであれば漏電していますので、電源プラグを抜き、修理を依頼してください。
	止水栓が閉じている。	止水栓を左に回します。 （☞11ページ）
	ストレーナーが目詰まりしている。	ストレーナーの掃除をします。（☞51ページ）
	着座センサーが入っていない。	着座しないとシャワーはでません。（☞39ページ）
	水道圧が低い。	洗浄強さを強くします。（☞15ページ）
	給水ホース等が凍結している。	暖かいお湯に浸した布等で、給水ホースや給水接続部を温めてください。または、室内を暖めて自然解凍を待ってください。（☞57ページ）
	リモコンの電池が切れている。	新しい電池に交換します。（☞52ページ）
	温水タンクが満水になっていない。	試運転を行います。（☞11ページ）
シャワーが温かくない。	温水スイッチが適当な温度に調節されていない。	温水スイッチを切り替え、適当な温度に調節します。 （☞13ページ）
	長時間洗浄した。	約3分で温かくなります。（☞39ページ）
	節電中である。	節電を解除します。（☞27ページ）
便座が暖かくない。	電源スイッチが「切」になっている。	電源スイッチを押して、表示部の電源ランプを点灯させます。（☞13ページ）
	便座スイッチが適当な温度に調節されていない。	便座スイッチを切り替え、適当な温度に調節します。 （☞13ページ）
	節電中である。	節電を解除します。（☞27ページ）
長時間座ると便座がぬるく感じる。	便座ヒーターオートOFF機能が働いている。	便座ヒーターオートOFF機能を解除します。（☞36ページ）
本体表示部の電源ランプが点滅している。	温水、便座、（部屋暖房）のいずれかの機能に不具合が生じている。 または点検時期が来ている。	電源スイッチを切にしても点滅している場合は故障していますので、コンセントから電源プラグを抜いて、修理を依頼してください。 電源スイッチを切にして消灯する場合は点検時期ですのでお早めに点検をお受けください。 （点検されるまではご使用になれます。）
部屋暖房しても暖かくならない。	暖房温度が「低」になっている。	暖房温度を「高」にします。（☞33ページ）
便フタが自動開閉しない。	フルオート便座スイッチが「切」になっている。	フルオート便座スイッチを「1」または「2」にしてください。（☞29ページ）
便器内に水が流れっぱなしになる。	洗浄ハンドルが手前に回っている。または機能に不具合が生じている	止水栓を閉め、洗浄ハンドルを元の位置に戻します。（☞42ページ）
便器洗浄がうまく行えない。	止水栓が全開になっていないか、ストレーナーが目詰まりしている。	止水栓を全開にして、ストレーナーの掃除をします。（☞51ページ）

上記処置で故障が直らない場合は、お求めの取扱店または㈱INAXメンテナンスへご相談ください。

アフターサービス

1. 修理を依頼される前に

商品が故障したら「故障かなと思ったら」（58ページ）を参照してください。
それでも故障が直らない場合は、お求めの取扱店または(株)INAXメンテナンスにご相談ください。
なお、不具合でなくても下記の場合はご相談ください。

- ●取扱説明書どおりに使用されても、まだ不明な点がある場合
- ●コードの傷みやコンセントのガタツキ
- ●コンセントや電源プラグ、コードの過熱

上記の場合、そのままにしておくと思わぬ事故につながる恐れがあります。必ずご相談ください。

⚠ 警告

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
※ 感電・火災の原因や、異常作動してケガをすることがあります。

2. 保証書をご覧ください

この商品は保証書がついています。保証書は、取扱店で所定事項を記入してからお渡しいたします。
記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間は取付けの日から2年間です。

保証期間内でも有料になることがありますので、保証書の記載内容をよくご確認ください。

3. 修理を依頼されるとき

■保証期間中の修理

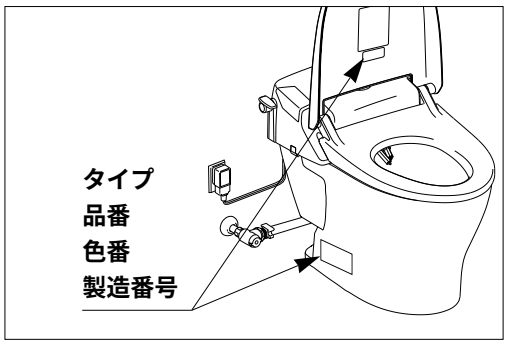
修理に際しては、必ず保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

■保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
料金の内訳は、技術料＋出張料＋部品代です。

■連絡していただきたい内容

1. ご住所・ご氏名・電話番号
2. タイプ・品番・色番・製造番号
   （便フタ裏側の品番シールをご覧ください。）
3. お取付け日（保証書をご覧ください）
4. 故障内容・異常の状況（できるだけ詳しく）
5. 訪問ご希望日



4. 補修用性能部品の最低保有期間

シャワートイレの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後6年です。保有期間経過後の修理では、部品がない場合がありますのでご了承願います。

※ 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5. 定期点検のおすすめ

有料となりますが、次のような場合は定期的に点検を受けていただくことをおすすめします。

- ●ご使用上支障がなくても長くお使いいただくため、お買上げより3年たったもの
- ●温泉地域および海岸付近など、特に腐食をおこしやすいところで使用されるもの
- ●長期間のご使用により電源ランプが点滅したら

定期点検については、㈱INAXメンテナンスまでご相談ください。

点検料金の内訳は、点検料（技術料）＋出張料＋部品代（交換した場合）です。

6. 商品について不明な点、およびアフターサービスについておわかりにならないとき

お求めの取扱店または当社お客さま相談センターにご相談ください。

使い方・お手入れ方法等、商品についてのお問合せは

（株）INAX「お客さま相談センター」

TEL 0120-1794-00
FAX 0120-1794-30

受付時間　平日　　9:00～19:00
土日・祝日10:00～18:00（夏季、年末年始の休みは除く）

修理のご依頼は

お求めの取扱店または
（株）INAXメンテナンス

TEL 0120-1794-11

受付時間9:00～22:00（365日受付＆修理）

FAX 0120-1794-56

ホームページアドレス　http://www.i-mate.co.jp

仕　様

タイプ		DV-118A,118A-R型 DV-118AH,118AH-R型 プラズマクラスター付・電動開閉付	DV-117A,117A-R型 DV-117AH,117AH-R型 部屋暖房付・電動開閉付	DV-116A,116A-R型 DV-116AH,116AH-R型 部屋暖房無・電動開閉付	DV-115A,115A-R型 DV-115AH,115AH-R型 部屋暖房無・電動開閉無
最大定格		AC100V・580W　50／60Hz	AC100V・790W　50／60Hz	AC100V・580W　50／60Hz	AC100V・580W　50／60Hz
便器洗浄方式		防露便器（GBC-900S,900P,940S型）：ダイレクトバルブ式			
洗浄水量		大：8L、小：6L			
商品寸法		幅425mm×奥行635mm×高さ540mm			
商品質量		約32kg（機能部：約10kg、便器部：約22kg）			
洗浄	温水タンク・容量	貯湯式2L			
	ノズル	おしり・ビデ専用　オートスライド式			
	ノズル穴	おしり用：パワフルφ1.3×3ヶ、マイルドφ1.3×3ヶ＋φ1.0×11ヶ ビデ用　：φ1.0×10ヶ			
	おしり吐水量	パワフル：0～1.8L／分、マイルド：0～2.0L／分（6段階調節）			
	ビデ吐水量	0～2.0L／分（6段階調節）			
	給水方式	水道直結式			
	温水ヒーター容量	500W			
	温水タンク内制御温度	切（水温）・低（約36℃）・中（約38℃）・高（約40℃）			
	安全装置	温度ヒューズ・空だき防止フロートスイッチ・高温感知スイッチ			
温風乾燥	風量	0.4m³／分			
	温風ヒーター容量	0・210・380W			
	温風温度調節	低・中・高			
	安全装置	温度ヒューズ（2個）			
暖房便座	ヒーター容量	48W			
	表面温度	切（室温）・低（約28℃）・中（約36℃）・高（約40℃）			
	温度調節	4段階切替（マイコン制御）			
	安全装置	温度ヒューズ			
脱臭	脱臭方式	脱臭カートリッジによる化学吸着方式			
	脱臭能力	プレ・アフター脱臭時：0.14m³／分 着座時　：0.11m³／分			アフター脱臭時：0.14m³／分 着座時　：0.11m³／分
	脱臭カートリッジ寿命	約7年			
プラズマクラスター	運転モード	クリーン／リフレッシュ 自動切替	—		
	イオン発生器定格電力	AC100V・0.7W以下	—		
部屋暖房	風量	—	0.3m³／分	—	
	温風ヒーター容量	—	210W	—	
	温風温度調節	—	低（約15℃）・高（約20℃）	—	
	安全装置	—	サーモスタット・温度ヒューズ	—	
節電機能		スーパー節電（24時間節電）・節電切タイマー（6時間後自動復帰）			
電源コード		有効長さ1.2m（漏電保護機能付、アースコード付）			
使用温度範囲		0～40℃			
最低必要水圧		0.07MPa｛0.7kgf/cm²｝（18L／分流動時）			
その他の機能		●着座センサー ●洗浄位置調節・ワイド洗浄 ●スーパーノズルクリーニング ●便座・便フタスローダウン ●フルオート便座・便座電動開閉（電動開閉付の場合） ●ノンタッチ男子小洗浄（電動開閉付の場合） ●ノンタッチ大小洗浄・便器自動洗浄 ●便フタワンタッチ着脱機構 ●おそうじリフトアップ ●電源スイッチ ●ほのかライト（電動開閉付の場合） ●バックライトリモコン（電動開閉付の場合）			

注意　この商品は、日本国内向け仕様です。海外での使用は、おやめください。

別売品のご案内

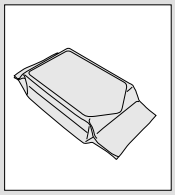
INAXでは、快適なトイレ空間造りのお手伝いとして、シャワートイレのメンテナンス用品をはじめとする、数々の別売品を用意しております。

別売品について

■トイレ用おそうじティッシュ（品番：CWA-36）

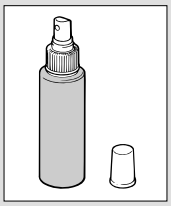
樹脂を傷めず、除菌効果に優れたトイレ専用ウェットティッシュです。使用後、便器にそのまま流せます。（☞45ページ）

※ 環境にやさしい牛乳パック再生紙使用。



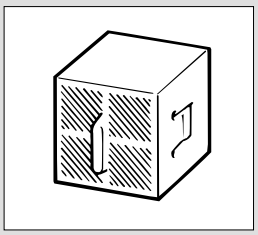
■シャワートイレお掃除クリーナー（品番：CWA-20）

樹脂を傷めないスプレー式シャワートイレ専用洗剤です。シュッと吹きかけて、ただふき取るだけ。
脱臭剤配合で便器にもご使用になれます。（☞45ページ）



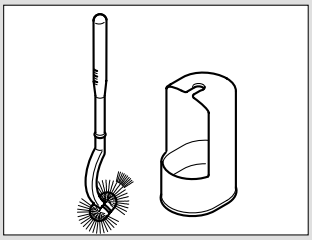
■取替え用脱臭カートリッジ（品番：CWA-29）

脱臭カートリッジの寿命は、約7年です。ニオイが気になりだしたら交換してください。
（☞48ページ）



■おそうじブラシ（品番：CWA-48）

便器のプロガード表面をキズ付けないブラシです。便鉢の裏側まできれいに洗い落とせます。（☞46ページ）



■シートカバー品番　：ACF-355、ACF-455（シャワートイレ用）

■便フタカバー品番(電動開閉付の場合)：ACF-446、ACF-A46、ACF-B46
(電動開閉無の場合)：ACF-344、ACF-444、ACF-A44、ACF-B44、ACF-C44

シートカバーや便フタカバーは、当社のアクセサリーからお選びください。
他社製品や不適切なカバーによっては、便座が立たなかったり、着座センサーが入り放しになったりして、不具合が生じる場合があります。

※ 電動開閉無の場合、便フタカバーはACF-446、A46、B46もご使用になれます。

別売品の購入方法

●直接、購入される場合

お求めのシャワートイレ取扱店、またはお近くのINAXショールームでお求めください。また、全国有名スーパー、大手家電量販店でもお求めになれます。（一部、取扱っていない場合もあります。）

●宅配サービスを利用される場合

お近くの㈱INAXメンテナンスにご連絡ください。
宅配サービスにてお届けします。（宅配サービスの場合は送料が別途必要となります。）

ご注文フリーダイヤル：0120-00-1794
受付時間　9：00～17：00（年末年始・夏季休暇を除く）

保証書

本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。下記保証期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い求め取扱店に修理をご依頼ください。

*品番・取付日・お客さま・取扱店の欄に記載のない場合は、無効になります。

品名及び品番

シャワートイレ便器一体型（品番：DV-　　）

保証期間

取付日より2ヶ年

取付日

年　　月　　日

お客さま

おなまえ

様

おところ

おでんわ

（　　）　　-

無料修理規定（保証規定）

1.「取扱説明書」・「ラベル」などの注意書に従った正常な使用・維持管理状態で、保証期間内に故障した場合、無料修理いたします。
2. 無料修理をお受けになる場合、お買い求めの取扱店にご依頼のうえ、本書をご提示ください。
3. ご転居、ご贈答品などで、本書に記載の取扱店に修理を依頼できない場合、本書内、アフターサービスのページに掲載の、（株）INAXメンテナンスにご相談ください。
4. 保証期間内でも、以下の場合、有料修理とさせていただきます。
   （1） 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書によらないでご使用になった場合の故障及び損傷
   （2） お買い上げ・引き渡し後の設置場所の移動、及びそれに伴う落下などによる故障及び損傷
   （3） 施工説明書に指示する方法以外の工事または取付が原因で生じた故障及び損傷
   （4） 掃除・維持管理上の不備による汚れ・さび・排水の詰まりなどによる不具合
   （5） 温泉水・井戸水などであって水道法に定められた飲料水の水質基準に適合しない水を給水したことに起因する故障及び損傷不具合
   （6）不当な修理、または改造を行ったことが原因で生じた故障及び損傷
   （7）火災・地震・水害・落雷、その他の天災地変、公害、気象条件及び環境条件による現象（凍害・結露等）、異常水圧、異常電磁波による故障及び損傷
   （8）消耗部品（パッキン、ヒューズ、電池、電球等）
   （9）本書の提示がない場合
   （10）本書に品番・取付日・お客さまのお名まえ・取扱店名の記入のない場合、あるいは字句の書き替えられた場合
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。

本書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理を行うことをお約束するものです。従って、本書によって、お客さまの法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理など、ご不明な場合、お買い求めの取扱店または本書に掲載の、お客さま相談センターにお問い合わせください。修理に必要な補修用性能部品の保有期間は、製造打切後6ヶ年です。

年月日	損傷と処置	サービス担当者

取扱店（店名・住所・TEL）

株式会社INAX

愛知県常滑市鯉江本町　〒479-8585
TEL:(0569)35-2700 **(代表)**
ホームページアドレス　http://www.inax.co.jp/

GCW-1074A(03010)